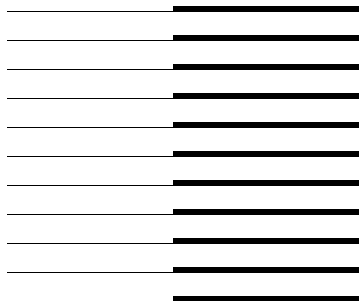




Océ Account Center

ユーザー マニュアル





Océ-Technologies B.V.

著作権

© 2005, Océ-Technologies B.V. Venlo, The Netherlands

すべての権利を留保します。Océ による事前の書面による承諾なしに、本書の全部または一部を、いかなる形態においても、またいかなる手段でも、再版、複写、改作、翻訳することを禁じます。

本書の内容と、特別な目的に合致する場合の商業上の認可を含む特定の権利放棄に関しては、Océ-Technologies B.V. が代表し、認可します。さらに、Océ-Technologies B.V. は、この出版物の改訂、変更を、他者に通知する義務なく、改訂し、時には本書の内容に変更を加える権利を留保します。

目次

第 1 章

- はじめに
- お客様への注意事項 8
- マニュアルセット 9

第 2 章

- Oce Account Center について**
- Oce Account Center のユーザー 12
- Oce Account Center の概要 13

第 3 章

- Oce Account Center を使用する準備**
- Oce Power Logic(r) コントローラの設定 16
- Oce Account Console のインストール 19
- Oce Account Console のライセンス 21
- Oce Account Console へのリモート アクセス 22
- Oce Account Logic アプリケーションを使用できるようにする 23
- Oce Account Logic へのリモート アクセス 25

第 4 章

- 特権ユーザーのための Oce Account Center : 管理者**
- 始める前に 28
 - Oce Account Console へのログイン 28
 - Oce Account Console の主なコンポーネントの概要 31
 - Oce Account Console からのログアウト 34
- Oce Account Console ライセンスの管理 35**
 - Oce Account Console のホスト ID の決定 35
 - 新しいライセンスの起動 37
 - 現在のライセンス ファイルのバックアップ 39
- Oce Account Logic に「アカウント情報ダイアログ」を作成する 40**
 - はじめに 40
 - 新しいフィールドの作成 41
 - アカウント フィールドに新しい値を作成する 45
 - 値の追加 50
 - アカウント フィールドの管理 53
 - フィールドの編集 53
 - アカウント フィールドの削除 54
 - 順序の変更 55

- アカウントフィールドの値の管理 57
 - 値の編集 57
 - 値の削除 59
 - 値の順序の変更 60
- サードパーティアプリケーションから「アカウント情報」フィールドを使用する 62
 - サードパーティアプリケーションからのフィールドの発行 62
- 「アカウント情報」ダイアログを **Oce Account Logic** で使用できるようにする 63
 - はじめに 63
 - プレビュー 64
 - 「アカウント情報」ダイアログを **Oce Account Logic** で使用できるようにする 66
- Oce** デバイスの作成および管理 67
 - 新しいデバイスの作成 67
 - デバイスの編集 69
 - リストからのデバイスの削除 70
 - デバイスのアップグレード 71
- アカウントデータの取得 74
 - デバイスからのアカウントデータの取得 74
- Oce Account Logic** の管理 78
 - 「管理」ウィンドウ 78
 - ログインウィンドウ 79
 - 新しい「アカウント情報」ダイアログの取得 80
 - ジョブのアカウント情報要件の設定 81
 - リモートアクセス設定の定義 83
 - ユーザー ID とアカウント ID のみがアカウント情報として指定されているプリントジョブ 84
 - ローカルクライアントに「アカウント」ダイアログの取得を許可する 86

第 5 章

- ユーザーのための **Oce Account Center**
 - はじめに 88
 - プリントジョブのアカウント情報を入力する 90
 - プリントジョブ 90
 - Oce Account Logic** の「プリント」タブ 91
 - 有効なアカウント情報のないプリントジョブの管理 94
 - コピージョブおよびスキャン to ファイルジョブのアカウント情報を入力する 95
 - 「アカウント情報」ダイアログ 95
 - コピージョブおよびスキャン to ファイルジョブ 97

第 6 章

- 特権ユーザーのための **Oce Account Center** : ブックキーパー
 - 始める前に 100
 - Oce Account Console** へのログイン 100
 - Oce Account Console** からのログアウト 103

アカウント ログ データのエクスポート	104
Oce Account Console でのエクスポート フィルタの作成および管理	104
エクスポート フィルタについて	104
新規エクスポート ファイルの作成	106
エクスポート フィルタの削除	108
エクスポート フィルタの編集	109
エクスポート フィルタのコピー	110
エクスポート フィルタの実行	111
ログ ファイルの管理	113
ログ データの削除	113

付録 A

付録	115
アカウント ログ ファイルのフィールドの説明	116

第 1 章 はじめに



お客様への注意事項

定義

このマニュアルでは、**Oce Account Center** の使用方法について説明します。このマニュアルには、**Oce Account Center** の機能の説明とこれらの機能を使用するためのガイドラインが含まれています。また、知識を増やし、ワークフローの管理に一層役立つヒントも含まれています。

注意、重要、および警告

このマニュアルの一部には、特別な注意が必要な個所があります。これらの部分では、重要な追加情報または器物破損を避けるための情報が記載されています。「注意」および「重要」という用語はこれらの重要な部分を示します。

- **Oce Account Center** の正しい使用に関する追加情報またはヒントの前には、「注意」と記載されています。
- 「重要」と記された部分には、たとえば原稿やファイルなどのアイテムに対する障害を防ぐための情報が記載されています。

マニュアルセット

はじめに

Oce Account Center は次の 2 つのアプリケーションから構成されます。

- Oce Account Console
- Oce Account Logic

Oce Account Center は次の Oce システムをサポートしています。

- Oce TDS シリーズ (TDS400、600、800、860)
- Oce TCS400 リリース 2.2 およびそれ以降のリリース。

下記のセクションでは、Oce Account Center について説明する、マニュアルセットの項目について説明します。

マニュアルセット

この Account Center ユーザー マニュアル	このユーザー マニュアルでは、Oce Account Center について紹介します。このマニュアルでは、システムのインストールと設定に関する手順について説明します。 第 4 章、第 5 章、および第 6 章には、アプリケーションの使用方法に関する説明が記載されています。
Oce Account Console のオンライン ヘルプ	このオンライン ヘルプでは、Oce Account Console の全機能に関するあらゆる情報について説明します。
Oce Account Logic のオンライン ヘルプ	このオンライン ヘルプでは、Oce Account Logic の全機能に関するあらゆる情報について説明します。
Oce Settings Editor のオンライン ヘルプ	このオンライン ヘルプでは、Oce Settings Editor のすべての設定に関するあらゆる情報について説明します。
Oce プリント システム シリーズのユーザー マニュアル	このマニュアルでは、Oce Account Center に関する一般情報について説明します。
Oce Account Center とのインターフェース	Oce Account Center とその他のアプリケーションとの統合方法については、お近くの Oce 代理店にお問い合わせください。

第 2 章

Oce Account Center について



Oce Account Center のユーザー

はじめに

Oce Account Center のユーザーの種類は次のとおりです。

- 特権ユーザー：管理者
- ユーザー
- 特権ユーザー：ブックキーパー

ユーザーの操作

ユーザー	機能
特権ユーザー：管理者	<ul style="list-style-type: none">■ <i>Oce Account Logic</i> に「アカウント情報ダイアログ」を作成する■ 「アカウント情報」ダイアログを <i>Oce Account Logic</i> で使用できるようにする■ アプリケーションのアカウント要件の設定■ 正しいパスワードの設定■ デバイスの作成および管理
ユーザー	「アカウント情報」ダイアログにジョブの正しいアカウント情報を入力する
特権ユーザー：ブックキーパー	<ul style="list-style-type: none">■ 必要なアカウント情報の決定■ デバイスからのアカウント データの取得■ ログデータの管理■ ログデータのエクスポート■ アカウント目的で <i>Oce Account Center</i> からのログ データを使用

Oce Account Center の概要

はじめに

Oce Account Center を使用して、Oce TDS および Oce TCS デバイスのプリント ジョブ、コピー ジョブ、およびスキャン to ファイル ジョブのアカウント情報を管理します。

定義

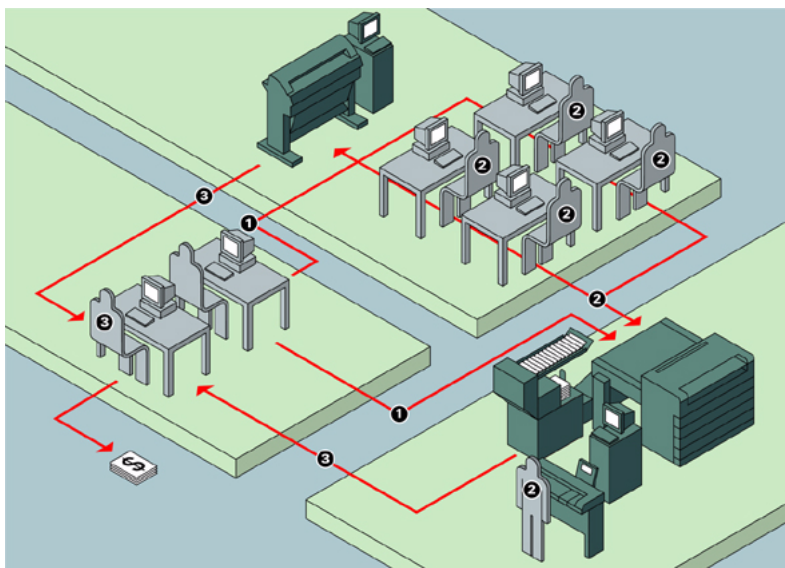
Oce Account Center は 2 つのソフトウェア モジュールから構成されます。

■ Oce Account Logic

Oce Account Logic は、Oce Power Logic^(r) コントローラで実行します。Oce Account Logic には、Oce Power Logic^(r) コントローラ上でローカルに接続するか、Web ブラウザを介してリモート PC から接続することができます。Oce Account Logic は管理者によって管理され、プリント、コピーまたはスキャン to ファイル ジョブにアカウント情報を追加する担当者によって主に使用されます。

■ Oce Account Console

Oce Account Console はサーバーとして機能する PC で実行します。Oce Account Console には、ローカル PC または Web ブラウザを介してリモート PC から接続することができます。Oce Account Console アプリケーションへのアクセスはパスワードによって保護され、管理者およびブックキーパーなど、権限のある担当者のみに限定されます。



Oce Account Center におけるユーザーの役割とタスク

ユーザー	タスク
1) 管理者	A) アカウント ダイアログの作成、管理および削除 B) Oce Power Logic ^(r) コントローラへのアカウント ダイアログの発行
2) ユーザー	C) Oce Account Logic、Oce Windows Printer Driver (WPD) または Oce Print Exec Workgroup のダイアログを使用して、各コピー、プリントおよびスキャン to ファイル ジョブのアカウント情報を指定
3) ブックキーパー	D) Oce Power Logic ^(r) コントローラに格納されているコピー、プリントおよびスキャン to ファイル ジョブのアカウント情報の取得および使用。ログデータは、アカウント レポートの入力として使用されます。

[1] Oce Account Center におけるユーザーの役割とタスク

第 3 章

Oce Account Center を使用する 準備



Oce Power Logic^(r) コントローラの設定

はじめに

Oce Account Logic を起動する前に、次の操作を実行する必要があります。

- Oce License Logic にライセンスをアップロードして Oce Account Logic を有効にする
- Oce Power Logic^(r) コントローラ上の Oce Settings Editor で適切な設定を定義する

始める前に

Oce Power Logic Controller 上の Oce Settings Editor で正しい設定を定義する前に、キー オペレータ (KO) としてログインします。

メモ: 設定および設定場所に関する情報については、*Oce Settings Editor* のオンラインヘルプを参照してください。

正しい設定

Oce Settings Editor の設定のパス	定義	説明
「KO」- 「システム」- 「ジョブ管理」- 「プリントジョブ」	「インボックスに入れる」を選択します。	<p>Oce Account Logic ではすべてのジョブがインボックスに送信される必要があります。</p> <p>メモ：有効なアカウント情報を持つプリントジョブはインボックスからプリント キューに自動的に移動します。</p> <p>有効なアカウント情報を持たないプリント ジョブのアカウント情報を <i>Oce Account Logic</i> の「プリント」タブに入力します。</p>

Oce Settings Editor の設定のパス	定義	説明
「KO」- 「システム」- 「ジョブ管理」- 「プリント権」	「特権ユーザー」を選択します。	特権ユーザーのみプリントすることができます。この設定により、Oce Queue Manager を使用する通常のユーザーによるプリントが無効になります。Oce Queue Manager では「プリント」ボタンが無効になります。Oce Account Logic は、Oce Power Logic ^(r) コントローラの特権ユーザーです。
「KO」- 「スキャナ」- 「設定」- 「タイマー」- 「パネル タイムアウト」	Oce では、パネルのタイムアウトを最小値（30 秒）に設定することをお勧めします。	スキャナ パネルのタイムアウト時にスキャナをロックします。スキャナをロックすると、ユーザーはアカウント情報を入力しないとスキャナを使用できなくなります。タイムアウト時間を最小値に設定すると、最小値の時間が経過するとスキャナがロックされます。

Oce Account Console のインストール

はじめに

Oce Account Console をサーバーとして機能する PC にインストールします。Oce Account Console を実行する PC の電源を切らないでください。

サーバー上でログ ファイルの夜間の取得などのスケジュール済みのタスクを実行できます。

PC 上の Oce Account Console にローカルにアクセスするか、Microsoft^(c) Internet Explorer を使用して、ネットワーク上のワークステーションから Oce Account Console に接続します。

始める前に

要件

- Microsoft^(r) Windows^(r) NT 4.0 SP3 または
- Microsoft^(r) Windows^(r) 2000 SP1 以降、または
- Microsoft^(r) Windows^(r) XP、または
- Microsoft^(r) Windows^(r) 2003 Server
- 250 MB の空きディスク容量
- 内蔵メモリとして 512 MB の RAM
- ネットワークからアクセス可能なポート
デフォルトのポートはポート 8001 です。
- Microsoft^(c) Internet Explorer 5.5 SP2 以降

インストール手順

1. サーバー PC の CD-ROM ドライブに Oce Account Center インストール CD を挿入します。CD-ROM ドライブが起動しない場合は、CD-ROM ドライブのアイコンを参照して「ocemenu.exe」をダブルクリックします。

設定は「ようこそ」画面から始まります。US (英語) など、使用する言語を選択します。

メモ： 設定手順の冒頭で選択した言語は、インストール手順におけるユーザー マニュアルおよびオンライン ヘルプのデフォルト言語として選択されます。

2. 「次へ」をクリックします。
ライセンス契約書が表示されます。
3. ライセンス契約書を読んで、「はい」をクリックして、契約書に同意します。
4. 画面の指示に従います。
 - デフォルトのインストール先フォルダは「C:\oce\webapps」です。
 - デフォルトでは、英語 (US) バージョンのユーザー マニュアルがインストールされます。これを変更して、他言語のバージョンを追加することができます。
 - インストールされるオンライン ヘルプ ファイルのデフォルト言語は英語 (US) です。言語を変更するか、複数の言語ファイルを選択することができます。
5. 「Installshield ウィザードの完了」画面が表示されたら、「終了」をクリックします。

結果

Oce Account Console アプリケーション、選択したユーザー マニュアルおよび Readme ファイルがプログラムのリストに追加されます。プログラム アイコンはデスクトップ上で使用できます。オンライン ヘルプ ファイルはアプリケーションに統合されています。

Oce Account Console のライセンス

Oce Account Console はライセンスで保護されています。Oce Account Console のインストール後、最大で 30 日間 Oce Account Console を使用することができます。30 日の期間内に、お近くの Oce 社からライセンスを取得する必要があります。

お近くの Oce 社に、ホスト ID を通知する必要があります。ホスト ID は、Oce Account Console の「ライセンス」ウィンドウに表示されます。「ライセンス」ウィンドウにアクセスするには (35 ページの「*Oce Account Console* のホスト ID の決定」を参照)。

お近くの Oce 社からライセンス ファイルを取得した後、「ライセンス」ウィンドウでライセンス ファイルを有効にする必要があります (37 ページの「*新しいライセンスの起動*」を参照)。

Oce Account Console へのリモート アクセス

はじめに

Oce Account Console は Web サーバーが含まれている Web アプリケーションです。Oce Account Console には、Internet Information Services (IIS) は必要ありません。

PC 上の Oce Account Console にローカルにアクセスするか、インターネットブラウザを使用して、ネットワーク上のワークステーションから Oce Account Console に接続します。

メモ : Microsoft^(c) Internet Explorer 5.5 SP2 以降を使用して、リモート ロケーションから *Oce Account Console* にアクセスします。

ネットワーク上のワークステーションから **Oce Account Console** に接続する

1. Microsoft^(c) Internet Explorer に次の URL を入力します。
http:// ホスト名 :8001/

ホスト名は Oce Account Console がインストールされるサーバーのホスト名です。

2. Oce Account Console のログイン画面が表示されます。(28 ページの「*Oce Account Console* へのログイン」を参照)

メモ : *Oce Account Console* へのアクセスはパスワードによって保護されます。

Oce Account Logic アプリケーションを使用できるようにする

使用する場合

Oce Account Logic は、Oce Power Logic^(r) コントローラにインストールされます。

アプリケーションおよび「アカウント情報」ダイアログを使用できるようにすると、ユーザーは Oce Account Logic を使用してジョブのアカウント情報を入力することができます。

始める前に

Oce Account Logic の使用を開始する前に、Oce Settings Editor で正しい設定を定義する必要があります。(16 ページの「*Oce Power Logic(r)* コントローラの設定」を参照)

Oce Account Logic を有効にするには

1. Oce License Logic で、Oce Account Logic の適切なライセンスを起動します。
2. Oce Account Console に「アカウント情報」ダイアログを作成します。
3. Oce Account Console にデバイスを作成します。
4. Oce Account Logic に対して Oce Account Console から「アカウント情報」ダイアログを発行します。(66 ページの「「アカウント情報」ダイアログを *Oce Account Logic* で使用できるようにする」を参照)
5. Oce Account Logic でジョブの正しいアカウント情報要件を設定します。(81 ページの「ジョブのアカウント情報要件の設定」を参照)
6. 「「スキャナ パネルのタイムアウト時にスキャナをロックする」」チェック ボックスをチェックします。このチェック ボックスにより、スキャナ パネルのタイムアウト時にスキャナを自動的にロックすることができます。(16 ページの「*Oce Power Logic(r)* コントローラの設定」を参照)
7. 「起動時にスキャナをロックする」チェック ボックスをチェックします。このオプションにより、スキャナのスイッチがオンになると、ただちにスキャナがロックされます。

結果

ユーザーは **Oce Account Logic** でジョブのアカウント情報を入力することができます。

Oce Account Logic は、**Oce Power Logic^(r)** コントローラ上でローカルに使用することができます。インターネットブラウザを使用して、ネットワーク上のリモートワークステーションから **Oce Account Logic** に接続します。

Oce Account Logic へのリモート アクセス

はじめに

インターネット ブラウザを使用して、ネットワーク上のワークステーションから **Oce Account Logic** に接続します。

メモ : *Microsoft^(c) Internet Explorer 5.5 SP2* 以降を使用して、リモート ロケーションから **Oce Account Logic** にアクセスします。

ネットワーク上のワークステーションから **Oce Account Logic** に接続する

1. インターネット ブラウザに次の URL を入力します。
http:// プリント システムのホスト名 /accountlogic.html

メモ : プリント システムのホスト名は、*Oce Settings Editor* の「**「SA」-「システム」-「設定」-「Oce Power Logic 識別」-「ホスト名」**」設定で指定します。

結果

ワークステーションからジョブのアカウント情報を入力することができます。

管理者は **Oce Account Logic** のリモート ユーザーが使用できるタブを定義します。(83 ページの「**リモート アクセス設定の定義**」を参照)

第 4 章

特権ユーザーのための Océ Account Center : 管理者



始める前に

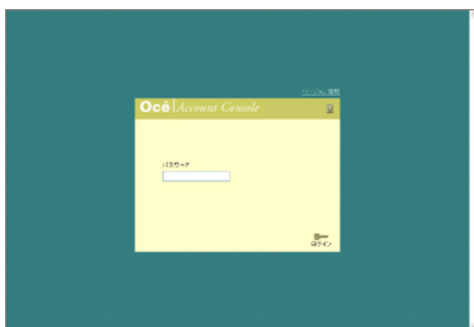
Oce Account Console へのログイン

はじめに

Oce Account Console へのアクセスはパスワードによって保護されます。

次の手順を実行して、Oce Account Console にログインします。

- ローカル ワークステーションまたは Oce Account Console がインストールされているサーバー上で、Microsoft[®] Internet Explorer アプリケーションを起動します。
- アドレス バーに正しいアドレスを入力します。
- フィールドに正しいパスワードを入力します。
- 「ログイン」をクリックして、Oce Account Console にアクセスします。



[1] 「ログイン」ウィンドウ

メモ： デフォルトのパスワードは空です。



[2] 「管理」ウィンドウ

パスワードの変更方法

次の手順を実行して、パスワードを変更します。

- 「管理」ウィンドウにアクセスするには、メインウィンドウの右上角の「管理」リンクをクリックします。
- オプションを有効にするには、チェックボックスをクリックします。
- 「パスワードの変更」セクションでパスワードを変更します。
- 確認のため、新しいパスワードを再度入力します。
- 「OK」をクリックして確認するか、「キャンセル」をクリックして変更を中止します。

メモ：管理者およびブックキーパーは、同じパスワードを使用する必要があります。

発行を有効にするには

「アカウント」ダイアログを手動で定義する代わりに、外部アプリケーションからダイアログをアップロードすることができます。この設定を有効にすると、アップロードされた「アカウント」ダイアログが自動的に発行されます。

Oce Account Center の設定を変更するには

次の手順を実行して、設定を定義します。

- ドロップ ダウン リストの矢印をクリックして、使用する言語を選択します。
- ドロップ ダウン リストの矢印をクリックして、ログ ファイルでプリント幅および長さのサイズ表示に使用する単位を選択します。
- ドロップ ダウン リストの矢印をクリックして、エクスポートされるログ データで使用済み用紙の面積表示に使用する単位を選択します。
- 「OK」をクリックして確認するか、「キャンセル」をクリックして変更を中止します。

メモ：長さ設定および面積設定で選択した値は、エクスポートされるログ データで使用されます。

Oce Account Console の主なコンポーネントの概要

はじめに

Oce Account Console の管理者ユーザーは、多数の管理および設定タスクを実行します。

次の表では、Oce Account Console の主な機能領域について説明します。

各部	説明
「ダイアログ」タブ	<p>「フィールド」セクション</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ アカウント ダイアログを作成します。アカウント ダイアログは、多数のアカウント フィールドで構成されます。 ■ アカウント ダイアログを削除します。この操作は元に戻せませんので注意してください。 ■ アカウント ダイアログを編集します。アカウント フィールドの種類を変更することができます。 ■ リストのアカウント フィールドの順序を変更します。 ■ 「アカウント」ダイアログのプレビューを作成して、妥当性をテストします。 ■ 「アカウント」ダイアログを発行します。「アカウント」ダイアログを外部アプリケーションで使えるようにします。 <p>「値」セクション</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 各アカウント フィールドの値を作成します。 ■ 各アカウント フィールドの値を追加します。アカウント フィールドに既存の値を追加します。 ■ 各アカウント フィールドの値を削除します。この操作は元に戻せませんので注意してください。 ■ 選択したアカウント フィールドの値を編集します。 ■ リストで選択した値を上下に移動します。 ■ 「ソート (昇順)」オプションを使用して、リストをアルファベット順にソートします。 ■ 「ソート (降順)」オプションを使用して、リストをアルファベット順にソートします。

各部	説明
「デバイス」タブ	<p>「デバイス」セクション</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「作成...」 オプションを使用して、新しいデバイスを作成します。 ■ 「削除」 オプションを使用して、デバイスを削除します。デバイスのログデータも削除されます。この操作は元に戻せませんので注意してください。 ■ 「編集...」 オプションを使用して、デバイスの値を変更します。 ■ 「ログデータの削除」 オプションを使用して、デバイスのログデータを削除します。 ■ 「アップグレード」 オプションを使用して、Oce Account Logic をアップグレードします。 <p>「タスク」セクション</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「起動」 オプションを使用して、ダイアログを実行または更新するか、ログデータを取得します。 ■ 「編集...」 オプションを使用して、ダイアログ更新およびログデータ取得の条件を変更します。
「フィルタのエクスポート」タブ	<p>「概要」セクション</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「作成...」 オプションを使用して、データをエクスポートする条件を定義します。 ■ 「削除」 を使用して、エクスポート フィルタを削除します。 ■ 「編集...」 を使用して、ログデータをエクスポートする条件を変更します。 ■ 「コピー...」 を使用して、フィルタ設定を複製し、別のエクスポート フィルタを作成します。 ■ 「実行...」 を使用して、必要なフィルタを選択し、ログデータのエクスポートを開始します。
「ライセンス」画面	<p>「ライセンス」画面では、次の操作を実行することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 有効なライセンス ファイルの受信に必要なホスト ID の決定。 ■ ライセンス ファイルを有効にする。 ■ ライセンス ファイルのバックアップを作成する。
「管理」画面	<p>「管理者」画面では、次の操作を実行することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ パスワードの変更。 ■ 他のアプリケーションから受信したデータの発行。 ■ Oce Account Console のその他の設定の定義。

[2] Oce Account Console の主な部分

Oce Account Console からのログアウト

1. メイン ウィンドウの右上角にある「ログアウト」リンクをクリックします。
2. 「OK」をクリックします。

Oce Account Console ライセンスの管理

Oce Account Console のホスト ID の決定

はじめに

Oce Account Console はライセンスで保護されています。Oce Account Console のインストール後、最大で 30 日間 Oce Account Console を使用することができます。30 日の期間内に、お近くの Oce 社からライセンスを取得する必要があります。ライセンスを取得するには、お近くの Oce 社に Oce Account Console のホスト ID を通知する必要があります。

始める前に

Oce Account Console がインストールされている PC 上で、Oce Account Console にリモートまたはローカルでログインします。



[3] 「ライセンス」 ウィンドウ

ホスト ID を表示するには

1. 画面右上角にある「ライセンス」リンクをクリックします。「ライセンス」ウィンドウが表示されます。
2. ウィンドウの「ホスト ID」セクションにホスト ID が表示されます。このホスト ID を使用して、ライセンス ファイルを取得します。

新しいライセンスの起動

はじめに

お近くの Océ 社にホスト ID を送信すると、ライセンス ファイルが届きます。

始める前に

Océ Account Console がインストールされている PC 上で、Océ Account Console にリモートまたはローカルでログインします。



[4] 新しいライセンスの起動

ライセンスを起動するには

1. 画面右上角にある「**ライセンス**」リンクをクリックします。「**ライセンス**」ウィンドウが表示されます。
2. 「**参照**」をクリックして、ライセンス ファイルを参照します。
3. ライセンス ファイルを選択します。
4. 「**有効**」をクリックして、ライセンス ファイルのアップロード処理を開始します。

結果

処理が完了するとメッセージが表示され、ライセンスが起動されます。

現在のライセンス ファイルのバックアップ

はじめに

現在のライセンス ファイルのバックアップを作成することができます。このオプションを使用して、現在のライセンス情報の紛失を防ぐことができます。

始める前に

Oce Account Console がインストールされている PC 上で、Oce Account Console にリモートまたはローカルでログインします。

ライセンス ファイルをバックアップするには

1. 画面右上角にある「ライセンス」リンクをクリックします。「ライセンス」ウィンドウが表示されます。
2. 「バックアップ」ボタンをクリックして、「参照」ウィンドウを開きます。
3. ライセンス ファイルの格納場所を参照します。
4. 「OK」をクリックして、この場所にライセンス ファイルを保存します。

Oce Account Logic に「アカウント情報ダイアログ」を作成する

はじめに

はじめに

「アカウント情報」ダイアログを使用して、Oce Account Logic で各プリント、コピーまたはスキャン to ファイル ジョブのアカウント情報を指定することができます。ブックキーパーは、Oce Account Console でこの情報を定期的に収集します。ブックキーパーは、データをエクスポートしてアカウントレポートを作成します。

管理者は、「アカウント情報」ダイアログの作成、管理および配布を行います。

以下の操作を実行して、Oce Account Logic ユーザー用に「アカウント情報」ダイアログを作成します。

「アカウント情報」ダイアログの作成

1. アカウント フィールドを作成します。
2. アカウント フィールドの順序を定義します。
3. アカウント フィールドに有効な値を作成します。
メモ : *Oce Account Console* を使用して、複数の管理者によって並行してフィールド、値、デバイスを作成または編集しないでください。同時に複数の変更を行うとシステムに不整合が発生する可能性があります。
4. 「アカウント情報」ダイアログをプレビューおよびテストします。
5. *Oce Account Console* にデバイスを作成します。これらのデバイス上の *Oce Account Logic* のダイアログを *Oce Account Console* に自動的に更新させるには、この操作が必要です。(67 ページの「新しいデバイスの作成」を参照)
6. 「アカウント情報」ダイアログを発行し、*Oce Account Logic* で使用できるようにします。

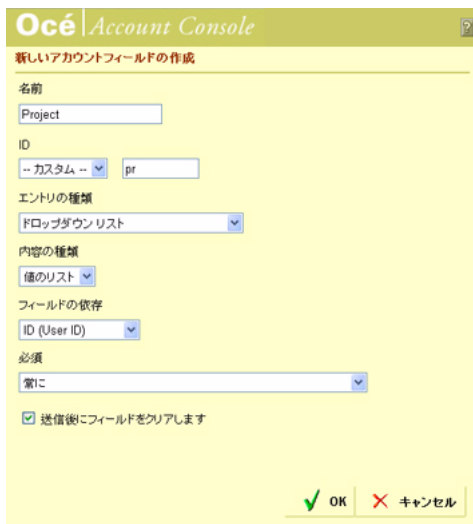
新しいフィールドの作成

使用する場合

Océ Account Logic および他のアプリケーション用に「アカウント情報」ダイアログを作成する最初のステップとしてアカウント フィールドを作成します。

新しいアカウント フィールドを作成するには

1. Océ Account Console にアクセスします。
2. 「ダイアログ」タブを選択します。
3. 「フィールド」セクションをクリックします。
4. ツールバー セクションの「作成 ...」ボタンをクリックします。
「フィールドの作成」ウィンドウが開きます。



[5] 「新しいフィールドの作成」ウィンドウ

5. フィールドの「名前」を指定します。
6. フィールドの一意な識別文字列（'ID'）を指定します。
ソフトウェアはこの「ID」を使用して、フィールドを識別します。
ID はエクスポートしたログ ファイルのテーブルヘッダーとして表示されます。

次の種類の ID が使用できます。

- ユーザー名として指定した ID、ユーザー ID、アカウント ID、およびパスワード。
- カスタム ID。
カスタム ID の先頭に「_」を使用することはできません。ID には次の記号を使用しないでください。一重引用符または二重引用符 (', ")、スラッシュまたはバックスラッシュ (/、\)、プラス記号 (+)、ハイフン/マイナス記号 (-)、スペース。

7. 有効な「エントリの種類」を指定します。

次のいずれかを選択します。

- 「テキスト フィールド」
「テキスト フィールド」フィールドを選択した場合、ユーザーはフリー テキストを入力するか、「値のリスト」リストで値を選択する必要があります。たとえば、ユーザー名フィールドには「テキスト フィールド」を使用します。
- 「複数行のテキスト」フィールド
「複数行のテキスト フィールド」を選択した場合、ユーザーは最大文字数が指定されていないフリー テキストを入力する必要があります。たとえば、注意事項フィールドには「複数行のテキスト」を使用します。
- 「ドロップダウン リスト」
「ドロップダウン リスト」を選択した場合、ユーザーはドロップダウン リストから値を選択する必要があります。たとえば、プロジェクト フィールドのプロジェクト名のリストに「ドロップダウン リスト」フィールドを使用します。
- 「パスワード」
「パスワード」を選択した場合、ユーザーはフリー テキストを入力する必要があります。入力した文字は非表示でアスタリスクで表示されます。

メモ: 「内容の種類」として「値のリスト」を指定する場合は、「値」ウィンドウでリストの値を指定します。

8. 「内容の種類」を指定して、フィールドに正しい値を作成します。
この値は、「エントリの種類」フィールドで選択した値により異なります。

エントリの種類「「テキストフィールド」」に「値のリスト」または暗号化された値のリストを指定する場合は、ユーザーは値の「ID」を入力する必要があります。

指定した値の ID のみが有効になります。

メモ:「内容の種類」として「値のリスト」を指定する場合は、「値」ウィンドウでリストの値を指定します。

9. 親フィールドの子フィールドを定義します。子フィールドは、親フィールドの下位レベルのフィールドです。両者の関係は、「フィールドの依存」フィールドで定義します。
たとえば、「Project」は子フィールド、「User ID」はその親フィールドです。

10. フィールドの要件を指定します。
次のいずれかを選択します。

- 「なし」
ユーザーはこのフィールドに有効な値を入力する必要はありません。
- 「常に」
ユーザーは常にこのフィールドに有効な値を入力する必要があります。
- 「Oce Account Logic を使ってアカウント情報を入力する場合のみ」

ユーザーは、プリントジョブ送信ツールやプリンタドライバでジョブを送信する場合、このフィールドに有効な値を入力する必要はありません。

Oce Account Logic の「アカウント情報」ダイアログでアカウント情報を入力する場合、ユーザーは有効な値を入力する必要があります。

11. 送信後にこのフィールドをクリアするには、チェックボックスをクリックします。
この設定を有効にすると、Oce Print Exec Workgroup または Oce Windows Printer Driver などの送信アプリケーションに対して、ジョブの送信後にこのフィールドをクリアするよう指定します。
12. すべての要素を指定したら、「OK」をクリックして、フィールドを保存します。

結果

新しいフィールドがアカウント フィールドのリストに保存されます。



[6] 新しいフィールドがアカウント フィールドのリストに保存される

アカウント フィールドに新しい値を作成する

使用する場合

次の 1 つまたは複数のプロパティを使用してアカウント フィールドに値を作成します。

- アカウント フィールドの「'エントリの種類'」は「'ドロップダウンリスト'」です。
- アカウント フィールドの「'エントリの種類'」は「'テキスト フィールド'」で、「'内容の種類'」は「'値のリスト'」です。
- アカウント フィールドの「'エントリの種類'」は「'パスワード'」です。



Océ Account Console

ライセンス 管理 ログアウト バージョン情報

ダイアログ デバイス フィルタのエクスポート

フィールド 値

フィールド

プレビュー... 発行

作成... 追加... 削除... 編集... 移動... ソート (昇順) ソート (降順)

名前

名前	id
Jeff	je
Arthur	ar

前回発行: なし

[7] 正しい親フィールドをクリックします (たとえば「ユーザー ID」)。

Océ Account Console

ライセンス 管理 ログアウト バージョン情報

ダイアログ デバイス フィルタのエクスポート

フィールド 値

フィールド

プレビュー... 発行

作成... 追加... 削除... 編集... 移動... ソート (昇順) ソート (降順)

名前

名前	id
Office	of
Villa	vi
Océ building	ob

前回発行: なし

[8] ツリーの下方の正しい子フィールドをクリックします (たとえば「プロジェクト」)。

アカウント フィールドに新しい値を作成するには

1. 「'ダイアログ」 タブの 「'値」 をクリックします。
上記のプロパティを含むすべてのフィールドを持つツリー構造が 「'フィールド」 セクションに表示されます。
2. 正しい親フィールドをクリックします（たとえば「ユーザー ID」）。
3. 「'値」 セクションで、リンクさせる値をクリックします（たとえば「Jeff」）。
4. ツリーの下方の正しい子フィールドをクリックします（たとえば「プロジェクト」）。
子フィールドは親フィールドに依存するフィールドです。フィールドの作成または編集ダイアログで、フィールドが依存する場所を指定します。

ツリーで選択したフィールドのフルパスが 「'値」 セクションに表示されます。

5. 「'値」 セクションの 「'作成 ...」 ボタンをクリックします。
「'値の作成」 ウィンドウが開きます。

[9] 「新しい値の作成」 ウィンドウ

6. 値の 「'名前」」 を指定します（たとえば、「Office」）。
7. 一意な値の 「'ID」」 を指定します。
メモ： 既存の ID を持つ値を作成することはできません。
8. 値を確認して、「'OK」」 をクリックします。
「'値の作成」 ウィンドウが閉じます。
9. 追加の値にも同様の操作を行います（たとえば、「Villa」）。
10. 「'値」 セクションにフィールドで指定した値のリストが表示されます。

結果

例に従って、ユーザー ID「Jeff」は「アカウント情報」ダイアログでプロジェクト「Office」と「Villa」を選択することができます。

[10] ユーザー ID「Jeff」はプロジェクト「Office」と「Villa」を選択できる

エントリの種類「パスワード」を使用してアカウント フィールドに新しい値を作成するには

1. 「ダイアログ」タブの「値」をクリックします。
上記のプロパティを含むすべてのフィールドを持つツリー構造が「フィールド」セクションに表示されます。
2. 正しい親フィールドをクリックします（たとえば「ユーザー ID」）。
3. 「値」セクションで、リンクさせる値をクリックします（たとえば、「John Smith」）。
4. パスワードの子フィールドをクリックします。
ツリーで選択したフィールドのフルパスが「値」セクションに表示されます。
5. 「値」セクションの「作成 ...」ボタンをクリックします。
「新しいパスワードの作成」ウィンドウが開きます。

6. 正しい「ユーザー名」を入力します。
7. 要求されたパスワードを入力します。
8. 確認のため、パスワードをもう一度入力します。
9. 値を確認して、「OK」をクリックします。
「新しいパスワードの作成」ウィンドウが閉じます。

値の追加

目的

次のプロパティを使用してアカウント フィールドに既存の値を追加します。

- 「'エントリの種類」は「'ドロップダウン リスト」'」で、
- 「'内容の種類」は「'値のリスト」'」です。

メモ: エントリの種類「'パスワード」'を持つフィールドに既存の値を追加することはできません。

使用する場合

フィールドが同じ親フィールドに依存する場合は、他の子フィールドにフィールドの値を追加することができます。

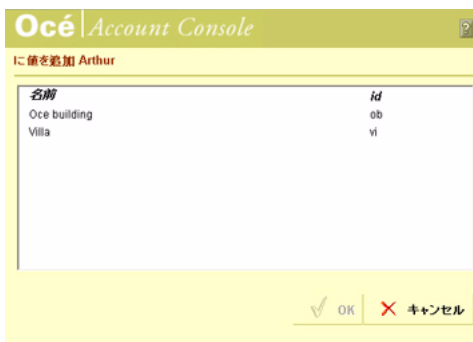
「'追加 ...」機能により、管理者は別のフィールドで再びフィールドの値を使用することができます。この機能を使用すると、管理者は複数のフィールドに同じ値を作成する必要はありません。

たとえば、別のユーザー ID「Arthur」は有効なプロジェクトとしてプロジェクト「Bridge」を持っています。このとき、別のユーザー ID「Jeff」に作成した値をユーザー ID「Arthur」のプロジェクトのリストに追加することができます。

アカウント フィールドに既存の値を追加するには

1. 「'ダイアログ」' タブの「'値」' をクリックします。
上記のプロパティを含むすべてのフィールドを持つツリー構造が「'フィールド」' セクションに表示されます。
2. 正しい親フィールドをクリックします（たとえば「ユーザー ID」）。
3. 「'値」' セクションの値をクリックします（たとえば、「Arthur」）。
4. ツリーの下方の正しい子フィールドをクリックします（たとえば、「Project」）。
ツリーで選択したフィールドのフルパスが「'値」' セクションに表示されます。

5. 「'値」」セクションの「'追加 ...」 ボタンをクリックします。
「'値を追加」」ウィンドウが開きます。



[11] 「値を追加」ウィンドウ

6. アカウント フィールドの既存の値のリストから 1 つまたは複数の値を選択します (たとえば、「Office」)。
7. 確認して、「OK」をクリックします。
「'値を追加」」ウィンドウが閉じます。
8. 「'値」」セクションにフィールドで指定した値のリストが表示されます。



[12] 「値」セクションにフィールドで指定した値のリストが表示される

結果

この例では、ユーザー ID「Arthur」にプロジェクト「Office」を追加しました。ユーザー ID「Arthur」は「アカウント情報」ダイアログでプロジェクト「Bridge」と「Office」を選択できるようになります。

The screenshot shows the 'Océ Account Console' window with the title bar 'Océ Account Console'. Below the title bar is a subtitle '「アカウント情報」ダイアログのプレビュー'. The main content area is titled 'アカウント情報' and contains several input fields: 'User ID' (set to 'Arthur'), 'Account ID' (empty), 'Project' (dropdown menu open showing 'Bridge' and 'Office'), 'Phase' (empty), 'Billable' (empty), 'Remarks' (text area), and 'User name' (empty). At the bottom right of the dialog, there are two buttons: 'テスト' (Test) and '閉じる' (Close).

[13] ユーザー ID「Arthur」はプロジェクト「Bridge」と「Office」を選択できる

アカウント フィールドの管理

フィールドの編集

使用する場合

既存のアカウント フィールドを編集して、すべての変更を反映させることができます。

アカウント フィールドを編集するには

1. 「ダイアログ」 タブの 「フィールド」 をクリックします。
2. リストからアカウント フィールドを選択します。
3. 「フィールド」 ツールバーの 「編集 ...」 ボタンをクリックします。
「フィールドの編集」 ウィンドウが開きます。

Océ Account Console

アカウント フィールドの編集

名前
Project

ID
-- カスタム -- pr

エントリの種類
ドロップダウンリスト

内容の種類
値のリスト

フィールドの依存
ID (User ID)

必須
常に

☐ 送信後にフィールドをクリアします

OK キャンセル

[14] 「アカウント フィールドの編集」 ウィンドウ

「フィールドの作成」 ウィンドウと同じフィールドを編集することができます。

4. 編集が終了したら、「OK」をクリックして変更を保存します。

アカウント フィールドの削除

使用する場合

既存のアカウント フィールドを使用しなくなった場合は、既存のアカウント フィールドを削除することができます。

アカウント フィールドを削除するには

注意: この操作によりすべての依存フィールドおよび値も削除されます。

1. 「ダイアログ」 タブの 「フィールド」 をクリックします。
2. 削除するフィールドを選択します。
3. 「フィールド」 ツールバーの 「削除」 ボタンをクリックします。
確認ダイアログが表示されます。
4. 正しいフィールドを選択したことを確認して、「OK」 をクリックします。

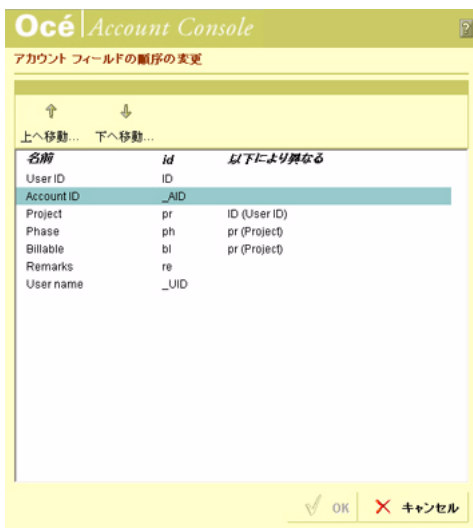
順序の変更

はじめに

Océ Account Logic の「アカウント情報」ダイアログで表示される通りに、アカウント フィールドの順序を変更することができます。

アカウント フィールドを移動するには

1. 「ダイアログ」タブの「フィールド」をクリックします。
2. 「フィールド」ツールバーの「移動 ...」ボタンをクリックします。ウィンドウが表示され、フィールドの順序を変更することができます。



[15] 「順序の変更」ウィンドウ

3. 順序を変更するアカウント フィールドを選択します。
4. 「上へ移動」ボタンを使用してフィールドを上に移動します。または、「下へ移動」ボタンを使用してフィールドをリストの下に移動します。
5. 確認して、「OK」をクリックします。ウィンドウが閉じます。

メモ：依存するフィールドは、親フィールドより上には移動できません。上の図では、「Project」フィールドを「User ID」フィールドより上に移動することはできません。「User ID」フィールドは、「Project」フィールドの親フィールドです。

アカウント フィールドの値の管理

値の編集

使用する場合

既存の値を編集して、すべての変更を反映させることができます。

値を編集するには

1. 「ダイアログ」タブの「値」をクリックします。
すべてのフィールドがエントリの種類「ドロップダウン リスト」または内容の種類「値のリスト」を持つツリー構造が、「フィールド」セクションに表示されます。
2. ツリーの正しい親フィールドをクリックします。
3. 「値」セクションで親フィールドの値をクリックします。
4. ツリーの下方の必要な子フィールドをクリックします。
ツリーで選択したフィールドのフルパスが「値」セクションに表示されます。

「値」セクションにフィールドで指定した値のリストが表示されます。

5. 「値」セクションで編集するフィールドを選択します。
6. 「値」セクションの「編集...」ボタンをクリックします。
「値の編集」ウィンドウが開きます。
7. 値の「名前」を編集します。
8. 値の一意な「ID」を編集します。
9. 値を確認して、「OK」をクリックします。
10. 「値の編集」ウィンドウが閉じます。

エントリの種類「パスワード」を使用してアカウント フィールドの値を編集するには

1. 「ダイアログ」タブの「値」をクリックします。
上記のプロパティを含むすべてのフィールドを持つツリー構造が「フィールド」セクションに表示されます。
2. ツリーの正しい親フィールドをクリックします。
3. 必要なフィールドが現れるまで、ツリーの下方の子フィールドをクリックします。
ツリーで選択したフィールドのフルパスが「値」セクションに表示されます。

「値」セクションにフィールドで指定した値のリストが表示されます。

4. エントリの種類「パスワード」を持つフィールドを選択し、「値」セクションで編集します。
5. 「値」セクションの「編集 ...」ボタンをクリックします。
「パスワードの編集」ウィンドウが開きます。
6. 正しい「ユーザー名」を入力します。
7. 要求されたパスワードを入力します。
8. 確認のため、パスワードをもう一度入力します。
9. 値を確認して、「OK」をクリックします。
10. 「パスワードの編集」ウィンドウが閉じます。

値の削除

使用する場合

値を使用しなくなったら、既存の値を削除することができます。

アカウント フィールドの値を削除するには

1. 「'ダイアログ」タブの「'値」をクリックします。
すべてのフィールドがエントリの種類「'ドロップダウン リスト」
' または内容の種類「'値のリスト」を持つツリー構造が、「'フィールド」
' セクションに表示されます。
2. ツリーの正しい親フィールドをクリックします。
3. 関連がある場合は、必要なフィールドが表示されるまで、ツリーの下方の子フィールドをクリックします。
ツリーで選択したフィールドのフルパスが「'値」セクションに表示されます。

「'値」セクションにフィールドで指定した値のリストが表示されます。
4. 「'値」セクションで削除するフィールドを選択します。
5. 「'値」セクションの「'削除」ボタンをクリックします。
確認ダイアログが表示されます。
6. 正しいフィールドを選択したことを確認して、「'OK」をクリックします。

メモ：「'削除」操作は元に戻せません。

値の順序の変更

はじめに

このウィンドウを使用して、Océ Account Logic の「アカウント情報」ダイアログで表示されるアカウント フィールドの順序を変更することができます。

値の順序を変更するには

1. 「ダイアログ」タブの「値」をクリックします。
上記のプロパティを含むすべてのフィールドを持つツリー構造が「フィールド」セクションに表示されます。
2. ツリーの正しい親フィールドをクリックします。
3. 関連がある場合は、必要なフィールドが表示されるまで、ツリーの下の子フィールドをクリックします。
ツリーで選択したフィールドのフルパスが「値」セクションに表示されます。
4. 「値」セクションの「移動 ...」ボタンをクリックします。
5. 「値の順序の変更」ウィンドウが開きます。



[16] 「値の順序の変更」ウィンドウ

6. 順序を変更する値を選択します。
7. 「上へ移動」ボタンを使用して値を上に移動します。または、「下へ移動」ボタンを使用して値を下に移動します。
8. 確認して、「OK」をクリックします。
「値の順序の変更」ウィンドウが閉じます。

値をソートするには

1. 「ダイアログ」タブの「値」をクリックします。
上記のプロパティを含むすべてのフィールドを持つツリー構造が「フィールド」セクションに表示されます。
2. ツリー一番上にある正しい親フィールドをクリックします。
3. 関連がある場合は、必要なフィールドが表示されるまで、ツリーの下の子フィールドをクリックします。
ツリーで選択したフィールドのフルパスが「値」セクションに表示されます。
4. 値をアルファベットの昇順にソートするには、「ソート (昇順)」ボタンをクリックします。
値をアルファベットの降順にソートするには、「ソート (降順)」ボタンをクリックします。

サードパーティ アプリケーションから「アカウント情報」フィールドを使用する

サードパーティ アプリケーションからのフィールドの発行

定義

サードパーティ アプリケーションからフィールドと値を使用することができます。**Oce Account Console** を設定して、**Oce Account Logic** に対してこれらのフィールドと値を自動的に発行することができます。

サードパーティ アプリケーションからのフィールドと値に関する詳細については、お近くの **Oce** 社にお問い合わせください。

サードパーティ アプリケーションからフィールドと値を使用するには

指定のサードパーティ アカウント アプリケーションから、**Oce Account Console** にアカウント ダイアログのフィールドを発行することができます。

管理操作をしないで、**Oce Account Logic** に対してフィールドを発行するには、「他のアプリケーションが **Oce Account Console** を移植したときに自動的にフィールドと値を発行する」を選択します。

このチェック ボックスを選択しない場合に、**Oce Account Console** に対してフィールドを発行するには、メイン ウィンドウの「発行」ボタンを使用します。

フィールドの発行後、**Oce Account Logic** で新しいアカウント情報構造を取得して、ユーザーがダイアログを使用できるようにします。

「アカウント情報」ダイアログを Oce Account Logic で使用できるようにする

はじめに

はじめに

「アカウント情報」ダイアログを使用して、Oce Account Logic で各プリント、コピーまたはスキャン to ファイル ジョブのアカウント情報を指定することができます。ブックキーパーは、Oce Account Console でこの情報を定期的に収集します。ブックキーパーは、データをエクスポートしてアカウントレポートを作成します。

管理者は、「アカウント情報」ダイアログの作成、管理および配布を行います。

以下の操作を実行して、Oce Account Logic ユーザー用に「アカウント情報」ダイアログを作成します。

「アカウント情報」ダイアログの作成

1. アカウント フィールドを作成します。
2. アカウント フィールドの順序を定義します。
3. アカウント フィールドに有効な値を作成します。
メモ : *Oce Account Console* を使用して、複数の管理者によって並行してフィールド、値、デバイスを作成または編集しないでください。同時に複数の変更を行うとシステムに不整合が発生する可能性があります。
4. 「アカウント情報」ダイアログをプレビューおよびテストします。
5. *Oce Account Console* にデバイスを作成します。これらのデバイス上の *Oce Account Logic* のダイアログを *Oce Account Console* に自動的に更新させるには、この操作が必要です。(67 ページの「新しいデバイスの作成」を参照)
6. 「アカウント情報」ダイアログを発行し、Oce Account Logic で使用できるようにします。

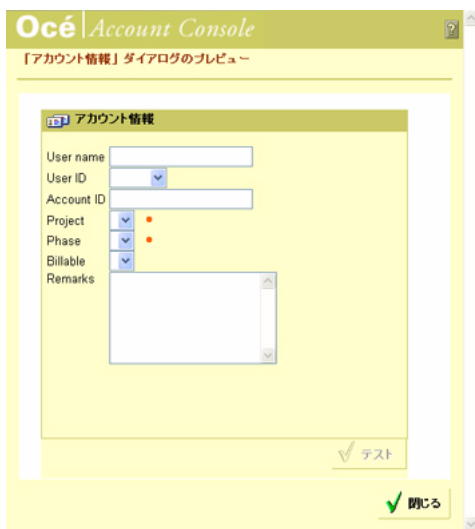
プレビュー

使用する場合

「アカウント情報」ダイアログをプレビューおよびテストすることができます。

「アカウント情報」ダイアログを **Oce Account Logic** で使用できるようにする前に、このダイアログをテストしてすべてのフィールドが有効な値を持つかどうかを調べます。

図



[17] 「プレビュー」ウィンドウの例

「アカウント情報」ダイアログをプレビューするには

1. 「ダイアログ」タブの「値」をクリックします。
2. リストからアカウントフィールドを選択します。
3. ツールバーの「プレビュー ...」ボタンを使用して、「プレビュー」ウィンドウを開きます。
「プレビュー」ウィンドウに、**Oce Account Logic** で表示されるのと同様の「アカウント情報」ダイアログが表示されます。

4. フィールドに必要な情報を入力します。
- メモ：ユーザーは「ID」に次の条件で値を入力する必要があります。
- 「エントリの種類」は「「テキストフィールド」」で、
 - 「内容の種類」は「値のリスト」。
- 管理者が指定する値の ID のみが有効になります。
5. 「テスト」をクリックします。
- 以下が表示されます。
- 正しい値ですべてのフィールドを入力していたら、「OK!」と表示されたダイアログが現れます。
 - 「アカウント情報」ダイアログに不正な値を持つフィールドが存在する場合は、最初のフィールドに不正な値があることを示すダイアログが表示されます。
- メモ：「ユーザー名」には、管理者が指定したフィールドID をユーザーが次の条件で入力する必要があります。
- 「エントリの種類」の場合は「「テキスト フィールド」」で、
「内容の種類」の場合は「値のリスト」。

「アカウント情報」ダイアログを Oce Account Logic で使用できるようにする

使用する場合

プレビューを使用して、フィールドが有効な値を持つことを確認した後で、「アカウント情報」ダイアログを Oce Account Logic で使用できるようにすることができます。

「アカウント情報」ダイアログを Oce Account Logic で使用できるようにするには、次の 2 つの操作が必要です。

- Oce Account Console から「アカウント情報」ダイアログを発行する。
- Oce Account Logic の「管理」ウィンドウで「アカウント情報」ダイアログを取得する。

メモ: 「ダイアログの更新」タスクを使用して、「アカウント情報」ダイアログを自動的に使用できるようにすることができます。

「アカウント情報」ダイアログを Oce Account Logic で使用できるようにするには

1. 「発行」ボタンを使用して、「アカウント情報」ダイアログを発行します。
「発行」ボタンは、「ダイアログ」タブの次の場所で使用できません。
 - 「フィールド」画面のツールバー
 - 「値」画面のツールバー
2. 確認ダイアログが表示されます。
「OK」をクリックして、「アカウント情報」ダイアログを発行します。
3. デバイスの自動更新設定が有効な場合、デバイス上の Oce Account Logic で新しいダイアログが自動的に使用できるようになります。
自動更新設定が無効な場合、Oce Account Logic でアカウント情報を手動で取得することができます。

Oce デバイスの作成および管理

新しいデバイスの作成

目的

ユーザーがプリンタ (あるいはスキャナ) で行ったジョブのアカウント情報を入力すると、**Oce Account Console** を使用してアカウント データを取得することができます。

ログ データを取得する前に、新しいデバイスを作成してください。デバイスがリストに存在する場合にのみ、デバイスのログ データを取得することができます。

「自動更新」オプションを設定すると、ユーザーが「発行」をクリックした際に **Oce Account Console** によってリモートでアカウント ダイアログが更新されます。

リストにデバイスを追加するには

1. 「デバイス」 タブの 「デバイス」 をクリックします。
2. 「デバイス」 セクションの 「作成 ...」 ボタンをクリックします。
3. 「新しいデバイスの作成」 ウィンドウが開きます。



[18] 「新しいデバイスの作成」 ウィンドウ

次の情報を入力します。

- デバイスの 「名前」
 - **Oce Settings Editor** で指定されている TCP/IP ネットワーク上のデバイスの 「ホスト名」
 - デバイスの 「自動更新」 オプションこのオプションを使用して、**Oce Account Console** に、デバイス上の **Oce Account Logic** の 「アカウント」 ダイアログを自動的に更新させることができます。
4. すべての要素を指定したら、 「OK」 をクリックします。

デバイスの編集

目的

以下の場合に、既存のデバイスを編集することができます。

- デバイスの「名前」を変更する
- デバイスの「ホスト名」を変更する、または
- 「自動更新」オプションを変更する場合。

既存のデバイスを編集するには

1. 「デバイス」タブの「デバイス」をクリックします。
2. 設定を編集するデバイスを選択します。
3. 「デバイス」セクションの「編集...」ボタンをクリックします。
4. 「デバイスの編集」ウィンドウが開きます。
次の情報を編集できます。
 - デバイスの「名前」
 - TCP/IP ネットワーク上のデバイスの「ホスト名」
 - デバイスの「自動更新」オプション
5. すべての要素を指定したら、「OK」をクリックします。

リストからのデバイスの削除

使用する場合

アカウント データが一部のデバイスから要求されなくなった場合は、リストからそのデバイスを削除することができます。

始める前に

デバイスを削除すると、そのデバイスに関する取得済みのログ ファイルもすべて削除されます。デバイスを削除する前に、ログ ファイルをエクスポートしてください。

デバイスを削除するには

1. 「デバイス」 タブの 「デバイス」 をクリックします。
2. 削除するデバイスを選択します。
3. 「デバイス」 セクションの 「削除」 ボタンをクリックします。
確認ダイアログが表示されます。
4. 正しいデバイスを選択したことを確認して、「OK」 をクリックします。

メモ： 削除操作は元に戻せません。

デバイスのアップグレード

目的

デバイスに **Oce Account Logic** の最新バージョンをインストールするには、アップグレード オプションを使用します。

メモ： インストール中は、**Oce Power Logic^(r)** コントローラにアクセスすることはできません。エラーが発生した場合は、**Oce Account Console** にメッセージが表示されます。メッセージを注意して読み、指示に従ってください。インストールが完了すると、**Oce Account Console** によって **Oce Power Logic^(r)** コントローラの再起動を要求するメッセージが表示されます。



[19] 「デバイス」 ツールバーの「アップグレード」 オプション

デバイスをアップグレードするには

1. 「デバイス」タブをクリックします。
2. リストからデバイスを選択します。
3. ツールバーの「アップグレード」ボタンをクリックします。

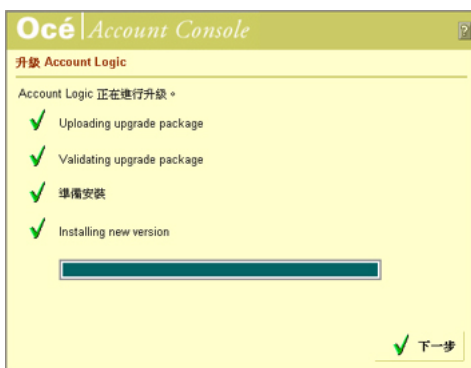


「Oce Account Logic のアップグレード」ウィンドウが開きます。



[20] 「Oce Account Logic のアップグレード」ウィンドウ

4. 「はい、継続します」をクリックします。
5. 「次へ」をクリックして続行します。
6. アップグレードが開始されます。次の画面で進行状況を確認することができます。



[21] アップグレード進行状況

7. アップグレード処理の完了後、Oce Power Logic^(r) コントローラを再起動することができます。

結果

デバイス上で最新バージョンの Océ Account Logic を使用できます。

アカウント データの取得

デバイスからのアカウント データの取得

はじめに

デバイスを追加すると、「タスク」タブに「ログ データの取得」および「ダイアログの更新」タスクが表示されます。

次の2つの方法のいずれかを使用して、デバイスからアカウント データを取得します。

- '手動'
- 'スケジュール済み'.

始める前に

デバイスの電源が入っており、デバイスのリストが作成されていることを確認してください。

「デバイスの作成」ウィンドウまたは「デバイスの編集」ウィンドウを使用して次のいずれかを指定します。

- アカウント データを手動で取得
下記の手順で、アカウント データを取得します。
- スケジュールに従って、アカウント データを自動的に取得

デバイスからアカウントデータを手動で取得するには

1. 「デバイス」タブの「タスク」をクリックします。
2. アカウントデータを必要とするデバイス上の「ログデータの取得」タスクを選択します。



[22] アカウントデータを必要とするデバイスを選択します。

3. 「タスク」セクションの「起動」ボタンをクリックします。
ログファイルがデバイスから取得されます。
4. 「更新」リンクをクリックして、タスクの「ステータス」を確認します。「ステータス」がまだ変更されていない場合は、「更新」リンクを再度クリックして、ステータスを更新します。

一定の時間間隔でアカウントデータを自動的に取得するには

1. 「デバイス」タブの「タスク」をクリックします。
2. アカウントデータを自動的に取得する必要のあるデバイスを選択します。
3. ツールバーの「編集...」ボタンをクリックします。
「デバイスの編集」ウィンドウが表示されます。

4. ラジオ ボタンを使用して、アカウント データを取得するためのワークフローを定義します。

Océ Account Console

タスクの編集

ログ データの取得

☐ 手動

☒ スケジュール済み

毎

開始時刻

開始日

時 分

OK キャンセル

[23] 手動またはスケジュール済み取得

- 「手動」を選択する場合は、「タスク」セクションの「起動」ボタンを使用してログを取得します。

- 「スケジュール済み」を選択する場合は、システムによって、指定した時間間隔で自動的にアカウントデータが取得されます。

ドロップダウンリストを使用して、ログデータを取得する時間間隔を定義します。

- 「毎週」を選択する場合は、正しい「曜日」を選択する必要があります。

- 正しい「日」を選択する場合は、アカウントログデータが取得される日の時刻を定義します。

メモ： Océ Power Logic^(r) コントローラは最大7日を過ぎるとログファイルを削除します。コントローラがログファイルを削除する前に、コントローラからログファイルを取得してください。Océ Settings Editor で、次の設定パスに、Océ Power Logic^(r) コントローラがログを削除するまでの日数を指定します：「[KO]- 「システム」- 「ログ」- 「ファイルの作成日時」。

データの喪失を防ぐため、毎日アカウント データを取得することを強くお勧めします。

結果

「スケジュール済み」を選択する場合は、システムによって、指定した時間間隔で自動的にログ データが取得されます。

Oce Account Logic の管理

「管理」ウィンドウ

定義

はじめに

Oce Account Logic の「管理」ウィンドウにより、管理者は次の操作を行うことができます。

- Oce Account Console から新しいアカウント情報構造を取得する
- ジョブのアカウント情報要件の設定
- リモート アクセス設定の定義
- ユーザー ID とアカウント ID のみがアカウント情報として指定されているプリント ジョブのワークフローを定義する
- ローカル クライアントに「アカウント」ダイアログの取得を許可するかどうか指定する

ログイン ウィンドウ

はじめに

「管理」ウィンドウへのアクセスは管理者のみに限定されます。メイン ウィンドウの右上角にある「管理」リンクをクリックすると、ログイン ウィンドウが表示されます。

正しいパスワードを入力した後、「OK」ボタンをクリックして、「管理」ウィンドウを開きます。メイン ウィンドウに戻るには、「キャンセル」ボタンをクリックします。

[24] ログイン ウィンドウ

「パスワードの変更」セクション

フィールド	機能
'パスワード'	正しいパスワードを入力します。 メモ：デフォルトのパスワードは空です。
'管理者パスワードの変更'	パスワードを変更するには、このチェックボックスをオンにし、「パスワード」フィールドに正しいパスワードを入力します。 パスワードは2度入力する必要があります。

新しい「アカウント情報」ダイアログの取得

はじめに

管理者は、「Océ Account Console」の「アカウント情報」ダイアログを指定します。次の手順を使用して、Océ Account Console で発行された「アカウント情報」ダイアログを取得します。

メモ：Océ Account Console でデバイスの自動更新が有効になっている場合は、この手順は必要ありません(67 ページの「新しいデバイスの作成」を参照)。

新しいアカウント情報構造を取得するには

1. Océ Account Logic のメイン ウィンドウの右上角にある「管理」リンクをクリックします。
ログイン画面が表示されます。

メモ：「管理」ウィンドウへのアクセスは管理者のみに限定されます。

2. 管理者としてログインします。
3. 「Océ Account Console」がインストールされているシステムのホスト名を「Océ Account Console」フィールドに入力します。
4. 「Océ Account Console」がインストールされているシステムとの通信に使用されるポート番号を「Océ Account Console」フィールドに入力します。

メモ：デフォルトのポート番号は8001 です。

5. Océ Account Console から新しいアカウント ダイアログを取得するには、「取得」ボタンをクリックします。
6. 確認して、「OK」をクリックします。

結果

正常に取得されたかどうかを示すダイアログ ボックスが表示されます。正常に取得された場合は、「アカウント情報」ダイアログに、Océ Account Console で指定したフィールドが含まれています。

正常に取得されなかった場合は、Océ Account Console を実行するサーバーが利用可能であるかどうかを確認してください。

正常に取得された場合は、「OK」をクリックして、「管理」ウィンドウを閉じます。

ジョブのアカウント情報要件の設定

目的

メモ: *Oce Settings Editor* の「ジョブ管理」設定が「インボックスに入れる」に設定されていることを確認します。

以下を指定します。

- 「「アカウント情報の入力が必要」」
必要なアカウント情報が入力された場合にのみジョブは有効になります。
必要なアカウント情報がコピー ジョブおよびスキャン to ファイル ジョブに対して入力されると、ユーザーはスキャナのロックを解除することができます。
有効なアカウント情報のないプリント ジョブは、有効な情報を入力するまでインボックスに残ります。
- 「「アカウント情報の入力はオプション」」
ユーザーはアカウント情報の入力を要求されません。
「アカウント情報」ダイアログを有効にするには、チェック ボックスをオンにします。
- 「「アカウント情報の入力はできない」」
「アカウント情報」ダイアログはユーザーには使用できません。
- 「「スキャナ パネルのタイムアウト時にスキャナをロックする」」
スキャナ パネルのタイムアウト後、自動的にスキャナをロックします。ユーザーはコピー ジョブおよびスキャン to ファイル ジョブを実行する場合にスキャナのロックを解除する必要があります。
Oce Settings Editor で、スキャナ パネルのタイムアウトを指定します(パス:「**KO**」-「スキャナ」-「設定」-「タイマー」-「パネル タイムアウト」)。
- 「「切り替え時に常にスキャナをロックする」」
スキャナのスイッチがオンになると、スキャナが自動的にロックします。ユーザーはコピー ジョブおよびスキャン to ファイル ジョブを実行する場合にスキャナのロックを解除する必要があります。

メモ: 多数のユーザーがシステムを使用する場合は、パネルのタイムアウトを最小値(30 秒)に設定することができます。専任のオペレーターがいる場合は、操作パネルのタイムアウトを最小値に設定する必要はありません。このような場合は、設定の解除を選択することもできます。

ジョブのアカウント情報要件の設定

1. メイン ウィンドウの右上角にある「管理」リンクをクリックします。
ログイン ウィンドウが表示されます。

メモ:「管理」ウィンドウへのアクセスは管理者のみに限定されます。

2. 管理者としてログインします。
3. 「コピー ジョブおよびスキャン to ファイル ジョブ」フィールドのラジオ ボタンを使用して、スキャナで実行するジョブのアカウント情報要件を指定します。
「「スキャナ パネルのタイムアウト時にスキャナをロックする」」および「「切り替え時に常にスキャナをロックする」」設定はチェック ボックスです。スキャナ上で実行されるジョブに対する要件を使用して、この設定を有効にすることができます。
4. 「インボックスからのプリント ジョブ」フィールドのラジオ ボタンを使用して、インボックスのプリント ジョブに対するアカウント情報要件を設定します。
5. 「履歴キューからのプリント ジョブ」フィールドのラジオ ボタンを使用して、履歴キューのプリント ジョブに対するアカウント情報要件を設定します。
6. 確認して、「OK」をクリックします。

リモート アクセス設定の定義

目的

Oce Account Logic のリモート ユーザーが使用できるタブを定義します。

メモ : Microsoft^(c) Internet Explorer 5.5 SP2 以降を使用して、リモートワークステーションから *Oce Account Logic* にアクセスします。

リモート ブラウザで使用できるタブを定義するには

1. メイン ウィンドウの右上角にある「管理」リンクをクリックします。ログイン ウィンドウが表示されます。

メモ : 「管理」ウィンドウへのアクセスは管理者のみに限定されます。

2. 管理者としてログインします。
3. 「リモート アクセス」フィールドのチェック ボックスを使用して、リモート ブラウザで使用できるタブを定義します。次のいずれかを選択します。

- 「コピー & ファイル」タブがリモート ブラウザで使用できる
- 「プリント」タブがリモート ブラウザで使用できる

メモ : リモート使用は、プリント ジョブでのみ有効です(未入力のアカウント情報の入力、アカウント情報のある履歴キューからの再プリントなど)。コピーおよびスキャン ジョブでは、デバイスを直接操作する必要があるため、リモート使用は適しません。

4. 確認して、「OK」をクリックします。

ユーザー ID とアカウント ID のみがアカウント情報として指定されているプリント ジョブ

はじめに

多数のアプリケーションが個別のジョブまたはプリント ジョブ内のアカウント情報を送信できます。デバイスは、アカウント データを探してジョブを検証する場所を認識する必要があります。

使用する場合

基本的なアカウントのログ機能を使用すると、アカウント ID とユーザー ID のみがアカウント情報フィールドとして指定されます。

基本的なアカウントのログ機能を使用すると、プリンタ ドライバのような一部のアプリケーションはプリント ジョブ内のアカウント情報を送信することができます。

基本的なアカウント ログ機能を使用すると、このフィールドにより、デバイスがアカウント情報を検証する場所を指定することができます。

ワークフローの定義

1. メイン ウィンドウの右上角にある「管理」リンクをクリックします。
ログイン ウィンドウが表示されます。

メモ: 「管理」 ウィンドウへのアクセスは管理者のみに限定されます。

2. 管理者としてログインします。
3. 「ユーザー ID とアカウント ID のみがアカウント情報として指定されているプリント ジョブ」 フィールドのチェック ボックスを使用してワークフローを指定します。
以下を選択します。

- プリント ジョブ内のアカウント情報の検証
- 個別のアカウント ジョブ内のアカウント情報の検証
個別のジョブでアカウント情報を送信するアプリケーションがネットワークに含まれていない場合は、「「個別のアカウント ジョブ内のアカウント情報の検証」」 チェック ボックスのみを無効にします。

4. 確認して、「OK」をクリックします。

ローカルクライアントに「アカウント」ダイアログの取得を許可する

「アカウント」ダイアログが大きいと、Oce Power Logic^(r) コントローラのパフォーマンスが低下する場合があります。このような状況では、Oce Print Exec Workgroup を使用します。このアプリケーションは、メモリ容量の大部分を「アカウント」ダイアログの読み込みに使用します。

このような状況を防ぐには、このインターフェース設定を解除する必要があります。

Oce Account Logic は、Oce Print Exec Workgroup にダイアログを渡しません。Oce Print Exec Workgroup はデフォルトのダイアログを表示します。したがって、Oce Print Exec Workgroup ジョブはインボックスに残ります。ユーザーは、Oce Account Logic を使用してアカウント情報を入力する必要があります。

第 5 章

ユーザーのための Oce Account Center



はじめに

管理者は、Oce Account Logic を使用して、ユーザーによるアカウント情報の入力が必要な場合およびその方法を設定します。コピーおよびスキャン ジョブ、プリント ジョブおよびすでにプリント済みのジョブには違いがあります (' 履歴キュー ')。

それぞれのジョブの種類について、3 つの可能性がありま

・「アカウント情報の入力が必要」

・「アカウント情報の入力はオプション」

・「アカウント情報の入力はできない」。「できない」とは、アカウント情報を入力することができないということです。プリント、スキャンまたはコピーは、アカウント情報なしで実行されます。

適切なアカウント情報があるプリント ジョブは、ただちに送信することができます。適切なアカウント情報がないプリント ジョブは、インボックスに残ります。ユーザーは、Oce Account Logic を使用して適切なアカウント情報を定義する必要があります。

次の表では、プリント ジョブおよびコピー / スキャン ジョブの両方について、ユーザーが Oce Account Logic を使用する必要がある場合について説明します。

「アカウント」 ダイアログの表示	管理者の定義するオプション
コピー / スキャン ジョブ 「アカウント情報」 フィールドが表示され、必ず入力する必要があります。「 スキャナのロック」 および「 スキャナのロック解除」 ボタンを使用することもできます。	・「アカウント情報の入力が必要」
プリント ジョブ (インボックスおよび履歴キューから) 「アカウント情報」 フィールドが表示され、必ず入力する必要があります。有効なアカウント情報が入力された場合は、「 プリント」 ボタンが有効になります。 入力したアカウント情報を削除するには、「 クリア」 ボタンを使用します。	

「アカウント」ダイアログの表示	管理者の定義するオプション
<p>コピー / スキャン ジョブ 以下の状況が発生する可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ チェック ボックスが表示されます。 チェックされない場合は、「アカウント情報」フィールドが灰色表示されます。「スキャナのロック」および「スキャナのロック解除」ボタンだけが使用できます。 ■ チェック ボックスがチェックされている。「アカウント情報」フィールドが表示されます。アカウント情報の入力が必要です。「スキャナのロック」および「スキャナのロック解除」オプションも表示されます。 	<p>'「アカウント情報の入力はオプション」'</p>
<p>プリント ジョブ 以下の状況が発生する可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ チェック ボックスが表示されます。 チェックされない場合は、「アカウント情報」フィールドが灰色表示されます。ジョブを選択して、「プリント」を押します。 ■ チェック ボックスがチェックされている。「アカウント情報」フィールドが表示されます。アカウント情報の入力が必要です。ジョブを選択し、アカウント情報を入力して、「プリント」を押します。 <p>入力したアカウント情報を削除するには、「クリア」ボタンを使用します。</p>	
<p>コピー / スキャン ジョブ 「スキャナのロック」および「スキャナのロック解除」ボタンだけが使用できます。「アカウント情報」フィールドは表示されません。</p>	<p>'「アカウント情報の入力是不可能的」'</p>
<p>プリント ジョブ ボタンは使用できません。Oce Queue Manager を介してプリントを実行する必要があります。</p>	

メモ：赤色のドットは、必要なフィールドを示します。

プリント ジョブのアカウント情報を入力する

プリント ジョブ

プリント ジョブのアカウント情報を入力する

次の場所のいずれかにアカウント情報を入力します。

入力する場所
プリント ジョブ送信ソフトウェア たとえば、Oce Print Exec Workgroup (LT)。
Oce Windows Printer Driver
サードパーティ「アカウント情報」ダイアログ
Oce Account Logic の「プリント」タブ <ul style="list-style-type: none">■ 「インボックス」 セクション■ 「履歴」 キュー セクション

Océ Account Logic の「プリント」タブ

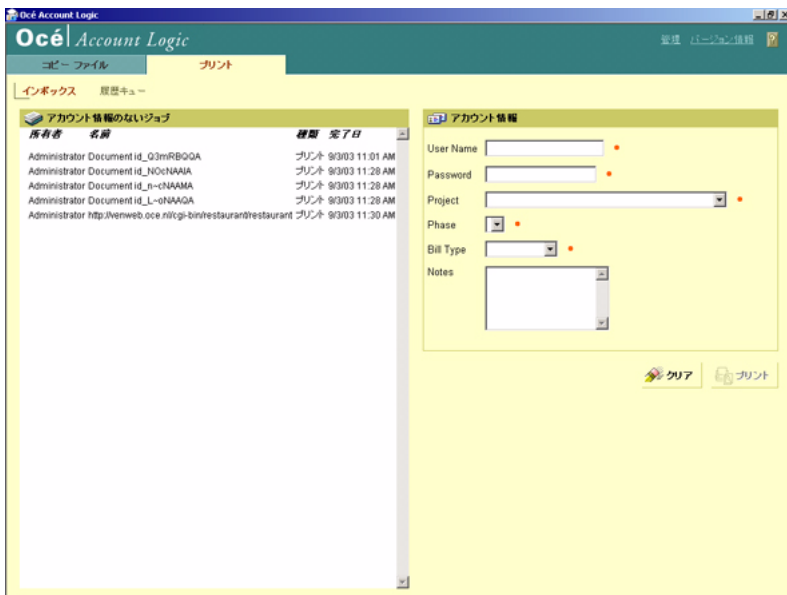
定義

プリント タブには次の 2 つの画面があります。

- 'インボックス'
このセクションには、有効なアカウント情報を持たない Océ Queue Manager 上のインボックスのジョブが表示されます。
- '履歴キュー'
このセクションには、Océ Queue Manager 上の履歴キューにあるプリント済みのジョブが表示されます。

「プリント」タブの「履歴キュー」には、プリント済みのすべてのジョブのリストが含まれます。ジョブを再度プリントするには、新しいアカウント情報を入力する必要があります。「アカウント情報」ダイアログでプリントジョブのアカウント情報を入力します。

図



[25] 「プリント」タブ

「アカウント情報のないジョブ」セクション

「アカウント情報のないジョブ」セクションには、有効なアカウント情報のないインボックスまたは履歴キューのジョブが表示されません。

「アカウント情報のないジョブ」セクションには次の情報が表示されます。

- ジョブを送信したユーザーの名前
- ジョブの名前
- ジョブの種類（コピー ジョブまたはプリント ジョブ）
- ジョブが受信（「インボックス」）またはプリント（「履歴キュー」）された日付

アプリケーションはアカウント情報を持たないジョブのリストを自動的に更新します。

「アカウント情報」ダイアログの概要

「アカウント情報」ダイアログでプリント ジョブのアカウント情報を入力します。

赤色のドットは、必要なフィールドを示します。

「アカウント情報」ダイアログの内容は管理者が定義したアカウント情報要件により異なります。

アカウント情報を入力はオプションであると管理者が定義した場合は、チェック ボックスが表示されます。

チェック ボックスがチェックされない場合は、「プリント」ボタンのみが使用できます。

チェック ボックスがチェックされる場合は、「アカウント情報」ダイアログが使用できます。

アカウント情報の入力が常に必要であると管理者が定義した場合は、チェック ボックスは表示されません。

「アカウント情報」ダイアログのフィールドの種類

「アカウント情報」ダイアログは次の種類のフィールドを持つことができます。

- 「テキスト」フィールド
フリー テキストを入力します。
管理者は必要な値を定義することができます。
- 「複数行のテキスト」フィールド
フリー テキストを入力します。
たとえば、注意事項フィールドには「複数行のテキスト」を使用します。
- 「ド롭ダウン リスト」
ド롭ダウン リストから値を選択します。
- 「パスワード」
フリー テキストを入力します。入力した文字は非表示でアスタリスクで表示されます。

メモ: 赤色のドットは、必要なフィールドを示します。ユーザー名フィールドには、管理者が指定したフィールドID をユーザーが入力する必要があります。

有効なアカウント情報のないプリント ジョブの管理

はじめに

有効なアカウント情報なしで送信されたプリント ジョブは、「インボックス」に格納されます。必要な場合は、プリント ジョブを確認して、再度送信することができます。アカウント情報が入力されていることを確認してください。

「履歴キュー」キューにあるジョブは、正常にプリントされたものです。プリント済みのジョブにアクセスして、再プリントすることができます。この場合は、別のアカウント情報を使用します。

有効なアカウント情報のないプリント ジョブをプリントするには

1. 「プリント」タブで、「インボックス」キューをクリックします。
2. 有効なアカウント情報のないジョブのリストでジョブを選択します。
3. 「アカウント情報」ダイアログで正しいアカウント情報を入力します。
4. プrint キューにジョブを送信するには、「プリント」をクリックします。

履歴キューからジョブを再プリントするには

1. 「プリント」タブで、「履歴キュー」をクリックします。
2. リストからジョブを選択します。
3. 「アカウント情報」ダイアログで正しいアカウント情報を入力します。
4. プrint キューにジョブを送信するには、「プリント」をクリックします。

コピー ジョブおよびスキャン to ファイル ジョブのアカウント情報を入力する

「アカウント情報」 ダイアログ

はじめに

「アカウント情報」 ダイアログを使用して、各コピー、プリントまたはスキャン to ファイル ジョブにアカウント情報を追加することができます。このアカウント情報を使用してアカウント レポートを生成し、費用を計算することができます。

Oce Account Logic^(r) の管理者設定によって、「アカウント情報」 ダイアログに表示される情報が異なる場合があります。

定義

「アカウント情報」 ダイアログにコピー ジョブまたはスキャン to ファイル ジョブのアカウント情報を入力します。

「アカウント」ダイアログの表示	管理者の定義するオプション
「アカウント情報」フィールドが表示され、必ず入力する必要があります。「' スキャナのロック '」 および 「' スキャナのロック解除 '」 ボタンを使用することもできます。	' 「アカウント情報の入力が必要」 '
以下の状況が発生する可能性があります。 <ul style="list-style-type: none">■ チェック ボックスが表示されます。チェックされない場合は、「アカウント情報」フィールドが灰色表示されます。「' スキャナのロック '」 および 「' スキャナのロック解除 '」 ボタンだけが使用できます。■ チェック ボックスがチェックされている。「アカウント情報」フィールドが表示されます。アカウント情報の入力が必要です。「' スキャナのロック '」 および 「' スキャナのロック解除 '」 オプションも表示されます。	' 「アカウント情報の入力はオプション」 '
「' スキャナのロック '」 および 「' スキャナのロック解除 '」 ボタンだけが使用できます。「アカウント情報」フィールドは表示されません。	' 「アカウント情報の入力はできない」 '

コピージョブおよびスキャン to ファイル ジョブ

はじめに

Oce Account Logic の「コピー & ファイル」タブ上の「アカウント情報」ダイアログにコピージョブまたはスキャン to ファイルジョブのアカウント情報を入力します。

コピージョブおよびスキャン to ファイルジョブのアカウント情報を入力する

1. 「アカウント情報」ダイアログのフィールドにアカウント情報を入力します。(95 ページの「「アカウント情報」ダイアログ」を参照)
2. 「スキャナのロック解除」ボタンをクリックします。
3. スキャナは使用できる状態になります。

第 6 章

特権ユーザーのための Océ Account Center : ブックキー パー



始める前に

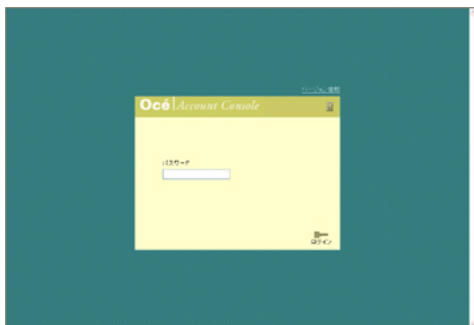
Oce Account Console へのログイン

はじめに

Oce Account Console へのアクセスはパスワードによって保護されます。

次の手順を実行して、Oce Account Console にログインします。

- ローカル ワークステーションまたは Oce Account Console がインストールされているサーバー上で、Microsoft[®] Internet Explorer アプリケーションを起動します。
- アドレス バーに正しいアドレスを入力します。
- フィールドに正しいパスワードを入力します。
- 「ログイン」をクリックして、Oce Account Console にアクセスします。



[26] 「ログイン」 ウィンドウ

メモ： デフォルトのパスワードは空です。



[27] 「管理」ウィンドウ

パスワードの変更方法

次の手順を実行して、パスワードを変更します。

- 「管理」ウィンドウにアクセスするには、メインウィンドウの右上角の「管理」リンクをクリックします。
- オプションを有効にするには、チェックボックスをクリックします。
- 「パスワードの変更」セクションでパスワードを変更します。
- 確認のため、新しいパスワードを再度入力します。
- 「OK」をクリックして確認するか、「キャンセル」をクリックして変更を中止します。

メモ：管理者およびブックキーパーは、同じパスワードを使用する必要があります。

発行を有効にするには

「アカウント」ダイアログを手動で定義する代わりに、外部アプリケーションからダイアログをアップロードすることができます。この設定を有効にすると、アップロードされた「アカウント」ダイアログが自動的に発行されます。

Oce Account Center の設定を変更するには

次の手順を実行して、設定を定義します。

- ドロップ ダウン リストの矢印をクリックして、使用する言語を選択します。
- ドロップ ダウン リストの矢印をクリックして、ログ ファイルでプリント幅および長さのサイズ表示に使用する単位を選択します。
- ドロップ ダウン リストの矢印をクリックして、エクスポートされるログ データで使用済み用紙の面積表示に使用する単位を選択します。
- 「OK」をクリックして確認するか、「キャンセル」をクリックして変更を中止します。

メモ：長さ設定および面積設定で選択した値は、エクスポートされるログ データで使用されます。

Oce Account Console からのログアウト

1. メイン ウィンドウの右上角にある「ログアウト」リンクをクリックします。
2. 「OK」をクリックします。

アカウント ログ データのエクスポート

Oce Account Console でのエクスポート フィルタの作成および管理

エクスポート フィルタについて

はじめに

ブックキーピングにデータを使用できるようにするには、Oce Account Console からデータをエクスポートする必要があります。エクスポート フィルタを使用して、指定した期間について、デバイスごとにデータをエクスポートすることができます。

たとえば、2005 年 5 月に Oce TDS800 から受信したすべてのデータをエクスポートすることができます。

Oce Account Console には、3 つのエクスポート フィルタがあります。次の表では、これらのフィルタについて説明します。

メモ：標準フィルタを変更または削除することはできません。ユーザーにより、追加のフィルタを作成することができます。これらのカスタム フィルタは、常に CSV フォーマットでデータをエクスポートします。

標準フィルタのリスト

フィルタ	説明
XML	このフィルタは、標準フィールドおよび Oce Account Console で定義されたすべての追加フィールドを XML (Extensible Markup Language) フォーマットでエクスポートします。
標準 CSV	このフィルタは、 Oce Power Logic^(r) コントローラのアカун ト ログの標準フィールドのみをエクスポートします。 Oce Account Logic で検証されたユーザー ID (_UID) およびアカウント ID (_AID) は、標準のログ ファイルのユーザー ID とアカウント ID になります。
拡張 CSV	このフィルタは、 Oce Power Logic^(r) コントローラのアカун ト ログの標準フィールドおよび、 Oce Account Console で定義されたすべての追加フィールドをエクスポートします。

新規エクスポート ファイルの作成

目的

ブックキーパーは、エクスポート フィルタを定義します。エクスポート フィルタには、アカウント ログ データに含まれ、格納される「アカウント情報」フィールドを指定します。



[28] 「エクスポート フィルタ」 タブ

新しいエクスポート フィルタを作成するには

1. 「'フィルタのエクスポート」」タブをクリックします。
2. 「'作成 ...」」ボタンをクリックすると、「フィルタの作成」ウィンドウが開きます。
3. フィルタを識別する名前を入力します。
4. フィルタの詳細について説明を入力します。この情報は、エクスポート フィルタのリストの「説明」列に表示されます。
5. エクスポートするフィールドを選択します。
6. 一般フィルタ設定を定義します。
 - 使用するエンコーディングを指定します。特定の言語で使用される特殊文字を正確に表示可能なエンコーディングを選択します。
 - 情報を列に分割する方法を指定します。
 - 「OK」をクリックして確認するか、「'キャンセル」」をクリックして入力を取り消します。

エクスポート フィルタの削除

目的

不要になったエクスポート フィルタは、削除することができます。削除できるのはカスタム エクスポート フィルタのみです。標準エクスポート フィルタは変更または削除できません。

メモ：削除されたエクスポート フィルタを復元することはできません。「元に戻す」機能を使用することはできません。



エクスポート フィルタを削除するには

1. 「フィルタのエクスポート」タブをクリックします。
2. カスタム エクスポート フィルタのリストからエクスポート フィルタを選択します。
3. 「削除」ボタンをクリックします。
ダイアログが表示されます。
4. 「OK」をクリックして選択を確認するか、「キャンセル」をクリックして操作を取り消します。

エクスポート フィルタの編集

目的

エクスポート フィルタにエクスポートする名前、説明およびフィールドを変更することができます。また、エクスポート フィルタの一般設定を変更して、データを他のアプリケーションで使用できるようにすることができます。



エクスポート フィルタを編集するには

1. 「フィルタのエクスポート」タブをクリックします。
2. リストからエクスポート フィルタを選択します。
3. ツールバーの「編集 ...」をクリックして、「フィルタの編集」ダイアログを開きます。
4. エクスポート フィルタの名前あるいは説明を変更します。
5. フィールドを追加または削除します。
6. 「全般設定」を変更します。
7. 「OK」をクリックして確認するか、「キャンセル」をクリックして変更を中止します。

エクスポート フィルタのコピー

目的

既存のエクスポート フィルタとよく似たエクスポート ファイルを作成する場合は、「コピー ...」機能を使用することができます。

最初から新しいエクスポート フィルタを作成する代わりに、名前および必要なフィールドを編集して、エクスポート フィルタを目的に合わせて変更します (109 ページの「エクスポート フィルタの編集」を参照)。

エクスポート フィルタをコピーするには

1. 「フィルタのエクスポート」タブをクリックします。
2. リストからエクスポート フィルタを選択します。
3. ツールバーの「コピー ...」ボタンをクリックします。
ダイアログが表示されます。
4. 「OK」をクリックして確認するか、「キャンセル」をクリックして操作を取り消します。

メモ: エクスポート フィルタには一意の名前を付け、内容がよく分かる説明を作成してください。

結果

選択したエクスポート フィルタのコピーがリストに追加されます。エクスポート フィルタには一意の名前があります。「編集 ...」機能を使用して、フィルタ設定をカスタマイズすることができます。

エクスポート フィルタの実行

使用する場合

エクスポート フィルタの設定を定義した後、エクスポート フィルタを実行することができます。

図

The screenshot shows the 'Océ Account Console' interface with a yellow background. The title bar reads 'Océ Account Console'. Below it, the section is titled 'エクスポート フィルタの実行' (Export Filter Execution). There are two main sections: '期間' (Period) and 'デバイス選択' (Device Selection). The '期間' section has a pencil icon and the instruction 'フィルタを実行する期間を選択します' (Select the period to execute the filter). It contains three radio buttons: '今日 (2005/06/03)' (Today), '先月 (2005/05/01 - 2005/05/31)' (Last month), and '今月 (2005/06/01 - 2005/06/03)' (This month). Below these is a '期限' (Deadline) section with two input fields and a separator, with the format 'yyyy-MM-dd' shown. The 'デバイス選択' section has a pencil icon and the instruction 'ログ データをエクスポートするデバイスを選択します' (Select the device to export log data). It contains a list box with two items: 'tg01-adt' and 'TDS800'. At the bottom right, there are two buttons: '実行' (Execute) with a right-pointing arrow icon, and '閉じる' (Close) with a green checkmark icon.

Océ Account Console

エクスポート フィルタの実行

期間

フィルタを実行する期間を選択します

☐ 今日 (2005/06/03)

☐ 先月 (2005/05/01 - 2005/05/31)

☐ 今月 (2005/06/01 - 2005/06/03)

☐ 期限 - yyyy-MM-dd

デバイス選択

ログ データをエクスポートするデバイスを選択します

tg01-adt
TDS800

実行 閉じる

エクスポート フィルタを実行するには

1. 「フィルタのエクスポート」タブをクリックします。
2. リストからエクスポート フィルタを選択します。
3. ツールバーの「実行 ...」ボタンをクリックして、「フィルタの実行」ダイアログを開きます。
4. フィルタを実行する間隔を選択することができます。「期限」フィールドでは、アカウント データをエクスポートする間隔を指定することができます。
5. 「デバイス選択」リストで、ログ データをエクスポートするデバイスを選択することができます。
6. 「実行」をクリックして確認するか、「閉じる」をクリックして変更を中止します。

ログ ファイルの管理

ログ データの削除

使用する場合

ログ ファイルからデータを処理した後で、これ以上ログ ファイルが必要なければ、ログ ファイルを削除します。

図

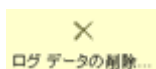


[29] ログ データの削除

Océ Account Console からログ データを削除するには

1. 「デバイス」タブをクリックします。
Océ Account Console で定義したすべてのデバイスを持つリストが、「デバイス」セクションに表示されます。

2. リストからデバイスを選択します。
3. ツールバーの「ログデータの削除」ボタンをクリックします。



「ログデータの削除」ウィンドウが表示されます。

Océ Account Console

ログデータの削除

期間

ログデータを削除する期間を選択します

☐ 今日 (2005/06/03)

☐ 先月 (2005/05/01 - 2005/05/31)

☐ 今月 (2005/06/01 - 2005/06/03)

☐ 期限 - yyyy-MM-dd

デバイス選択

ログデータを削除するデバイスを選択します

tg01-adt
TDS800

✓ OK ✗ キャンセル

[30] ログデータの削除

4. 期間を選択するか、手動で期間を定義します。
5. デバイスを再度選択します。
6. 「OK」をクリックして確認するか、「キャンセル」をクリックして変更を中止します。

メモ：この操作は元に戻せません。

付録 A

付録



アカウント ログ ファイルのフィールドの説明

はじめに

このセクションでは、Oce Account Console からエクスポート可能なフィールドのうち、Oce Account Console を使用して定義されたフィールド以外のものについて説明します。

標準 CSV エクスポート フィルタの出力の構造

標準 CSV エクスポート フィルタを使用すると、Oce Power Logic^(r) コントローラのアカウント ログの標準フィールドが CSV ファイルにエクスポートされます。

Oce Account Logic で検証されたユーザー ID (_UID) およびアカウント ID (_AID) は、Oce Power Logic コントローラの標準のログ ファイルのユーザー ID とアカウント ID になります。

CSV ファイルのデータは、任意のスプレッドシート アプリケーションで使うことができます。最初の行にはフィールドの名前に一致する列のタイトルが含まれます。

テキストの各行は 1 レコードです。アカウントのログ レコード (1 行) は各出力ページに生成されます。数ページの出力を持つジョブは、同様な数のアカウントのログ レコードを持ちます。

単一のジョブを構成するレコードはすべて、「一意なジョブ ID (JobUID)」フィールドに同じ値を持ちます。「一意なジョブ ID (JobUID)」フィールドは、各レコードの一部で、ファイルの各ジョブに対して一意です。「一意なジョブ ID (JobUID)」フィールドを使用して、単一ジョブを構成するレコードを収集し、すべてのジョブの合計を計算します。

各レコードの最初のフィールドは ASCII の 4 桁の数字で、レコードの種類を識別します。レコードのフィールドはレコードの種類によって固定の順序が決定されています。レコードの種類の最初の 2 桁は製品を識別します。

レコードにはフィールド セパレータ文字によって区切られたフィールドの連続が含まれます。

フィールドには英数字テキスト、セミコロン、および行端が含まれます。デバイスが機能をサポートしていない場合、または機能がジョブに対して使用されなかった場合は、フィールドは空のままです。

エクスポートされたフィールドの説明

パラメータ	種類	長さ（最高）	説明
記録タイプ	数値	4	<p>各アカウント ログ ファイルはタイプ 6310 の記録から始まります。これはタイプの記録で使用するフィールドの省略名のみを含む固定の記録です。</p> <p>次の Oce システムの記録タイプ識別子</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ <i>Oce TDS800</i> には 6111 ■ <i>Oce TDS600</i> には 6211 ■ <i>Oce TDS400</i> には 6311 ■ <i>Oce TCS400</i> には 6411 ■ <i>Oce TDS860</i> には 6511
Account ID (AccID)	テキスト	255	<p>アカウント ID</p> <p>メモ： スキャナパネルに表示される 9 桁の数字の「アカウント ID」は、接頭語のないテキスト表現に変換されます。</p> <p><i>Oce Job Ticket (OJT)</i> では、テキスト表現はチケットの「アカウント ID」フィールドに設定されます。</p> <p>メモ： 該当しない場合はフィールドは空です。</p>
ユーザー ID (UserID)	テキスト	255	<p>ジョブを送信したユーザーの ID です。</p> <p>該当しない場合はフィールドは空です。</p> <p>メモ： 9 桁の数字の「ユーザー ID」は接頭語のないテキスト表現に変換されます。</p> <p><i>OJT</i> チケットでは、テキスト表現はチケットの「ユーザー ID」フィールドに設定されます。</p>

パラメータ	種類	長さ（最高）	説明
ジョブ ID (JobID)	テキスト	255	ジョブ チケットに示されているジョブの ID（たとえばジョブ名）です。 ジョブ ID が使用できない場合は、フィールドは空です。 メモ： <i>OJT</i> チケットでは、テキスト表現はチケットの「ジョブ名」フィールドに設定されます。
装置 ID (MachID)	テキスト	255	システムの一意な ID です。 メモ： プリンタで設定している場合は、装置 ID はプリンタのシリアル番号です。 スキャナのみを設定している場合は、装置 ID はスキャナのシリアル番号です。
記録バージョン (Version)	数値	2	記録のバージョン番号です。0 から始まります。 記録には最初の入力ページの最初のレイヤからジョブの最後の入力ページの最後のレイヤまで番号がついています。
ジョブ一意 ID (JobUID)	数値	8	コントローラによって生成される一意なジョブ ID です。ジョブ一意 ID はログファイルの各ジョブに対して一意です。
記録番号 (RecNr)	数値	6	このジョブに対するアカウント ログ内のこの記録の連続番号です。0 から始まります。
ジョブ送信 ソース (JobSrc)	テキスト	255	ジョブのソースのホスト名または IP アドレスです。ジョブ送信ソースが使用できない場合は、フィールドは空のままです。
チャンネル タイプ (ChnType)	テキスト	N/A	ジョブ送信に使用されるプロトコルです。LPD、SMB、PSERVER、FTP、CENTRONICS が含まれます。
受信日付：年 (RcvY)	数値	4	ソース ページが受信された年です。
受信日付：月 (M)	数値	2	ソース ページが受信された月です。

パラメータ	種類	長さ（最高）	説明
受信日付：日 (D)	数値	2	ソース ページが受信された日です。
受信時間：時 (H)	数値	2	ソース ページが受信された時間です。
受信時間：分 (m)	数値	2	ソース ページが受信された時間（分）です。
受信時間：秒 (s)	数値	2	ソース ページが受信された時間（秒）です。
ソースの位置 (SrcLoc)	テキスト	255	入力ファイルの場所です。
ソースのページ番号 (SrcPg)	数値	6	ソース ファイルの入力ページのページ番号です。1 から始まります。
ソース タイプ (SrcType)	テキスト	N/A	ソース ページの種類です。PDL の種類には、TIFF、CALC、PDF、PS、NIRS、HPGL、HPGL2、C4、CALCOMP、および ASCII があります。
ソースの幅 (SrcWth)	数値	6	ポイントを単位とした（1/72 インチ）ソース ページのネイティブ幅
ソースの高さ (SrcHgt)	数値	6	ポイントを単位とした（1/72 インチ）ソース ページのネイティブ高さ
出力の幅 (OutWth)	数値	6	ポイントを単位とした（1/72 インチ）出力ページの実際幅
出力の高さ (OutHgt)	数値	6	ポイントを単位とした（1/72 インチ）出力ページの実際の高さ
幅のスケール (WthScl)	数値	4	原稿に対して幅方向に適用される % で表すスケール係数です。
高さのスケール (HgtScl)	数値	4	原稿に対して高さ方向に適用される % で表すスケール係数です。
ミラーリング (Mirror)	テキスト	2	原稿に適用されたミラーリングです。LR（垂直ミラー）または TB（水平ミラー）。ミラーリングが適用されない場合は、このフィールドは空のままです。

パラメータ	種類	長さ（最高）	説明
回転角度 (Rot)	数値	3	スケールされた原稿を左に回転させるときの角度です。可能な値は、0、90、180、270 です。角度 0 は元イメージと出力イメージの方向が同一であることを示します。
プロセスタイプ (PrcType)	テキスト	N/A	このページに対して行われた処理の種類です。 <ul style="list-style-type: none"> ■ <i>PLOT</i> (プリント) ■ <i>COPY</i> (コピー) ■ <i>STF</i> (スキャン to ファイル) ■ <i>CHK</i> (チェック プリント) ■ <i>ICOPY</i> (割り込みコピー) ■ <i>INTRNL</i> (内部のジョブ) ■ <i>REPlot</i> (履歴キューから)
プロセス完了 (PrcCmplt)	テキスト	N/A	このページに対して処理がどのように完了したかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ <i>DONE</i> (通常の終了) ■ <i>ABRT</i> (ユーザーによるジョブのキャンセル) ■ <i>ERR</i> (エラーが発生) エラーが発生したり、ジョブがキャンセルされた場合、正しく配信された最後のページが値 <i>DONE</i> を持ち、値 <i>ABRT</i> または <i>ERR</i> を持つ追加の記録がその後の最初のページ（エラーによって配信できなかったページ）に生成されます。
配信日付：年 (DlvY)	数値	4	ページが配信された年です。
配信日付：月 (M)	数値	2	ページが配信された月です。
配信日付：日 (D)	数値	2	ページが配信された日です。
配信時間：時 (h)	数値	2	ページが配信された時間です。
配信時間：分 (m)	数値	2	ページが配信された時間（分）です。

パラメータ	種類	長さ（最高）	説明
配信時間：秒（s）	数値	2	ページが配信された時間（秒）です。
出力ページ番号（OutPg）	数値	6	このジョブの出力ページの番号です。1から始まります。 物理的な出力ページには、デジタル出力のページとは別に番号がつけられます。 デジタル出力ページには、出力ファイルごとに個別に番号がつけられます。

パラメータ	種類	長さ（最高）	説明
出力用紙の種類 (MedType)	テキスト	N/A	<p>出力用紙の種類です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ <i>PPAPER</i> (普通紙) ■ <i>TRANSPARENT</i> (トランスペアレント) ■ <i>FILM</i> (フィルム) ■ <i>POLYESTER</i> (ポリエステル) ■ <i>VELLUM</i> (ベラム) ■ <i>TRANSLUCENT</i> (トランスルーセント) ■ <i>PAPERDRAFT</i> (ドラフト紙) ■ <i>PAPERSTANDARD</i> (普通紙) ■ <i>BOND</i> (ボンド) ■ <i>BONDDELUX</i> (スタンダード ボンド) ■ <i>PAPERSTANCOATED</i> (コート紙) ■ <i>PAPERPREMCOATED</i> (プレミアムコート紙) ■ <i>BONDCOATED</i> (ボンドコート紙) ■ <i>BONDCOATEDHIGHRES</i> (ハイグロスボンドコート紙) ■ <i>PHOTOPAPERMATT</i> (マット フォト紙) ■ <i>PHOTOPAPERGLOSS</i> (フォトグロス紙) ■ <i>TRACINGPAPER</i> (トレーシング) ■ <i>BONDTRANSLUCENT</i> (トランスルーセント ボンド) ■ <i>MONOVELLUM</i> (モノクロ用ベラム) ■ <i>COLORVELLUM</i> (カラー用ベラム) ■ <i>FILMMATT.</i> (マット フィルム) ■ <i>PAPERRECYCLED</i> (リサイクル普通紙) ■ <i>TRACINGJAPAN</i> (トレーシング和紙) ■ <i>PAPERCOATED</i> (コート紙) ■ <i>FILMMATTTHIN</i> (マット フィルム薄) ■ <i>CUSTOM1</i> (カスタム 1) ■ <i>CUSTOM2</i> (カスタム 2) ■ <i>CUSTOM3</i> (カスタム 3) <p>フィールドはスキャン to ファイル ジョブに対して空です。</p>

パラメータ	種類	長さ（最高）	説明
特殊な出力用紙（MedSpc）	テキスト	1	特殊な出力用紙が選択されたかどうかを示します。Y または N により表されます。 フィールドはスキャン to ファイル ジョブに対して空です。
出力用紙重量（MedWgt）	テキスト	N/A	出力用紙の重さです。 <ul style="list-style-type: none"> ■ <i>LIGHT</i>（軽い） ■ <i>NORMAL</i>（普通） ■ <i>HEAVY</i>（重い） 出力用紙の重さが不明な場合は、このフィールドは空のままです。フィールドはスキャン to ファイル ジョブに対して空です。
出力用紙ソース（MedSrc）	テキスト	N/A	出力用紙のソースです。 <ul style="list-style-type: none"> ■ <i>ROLL1</i>（ロール 1） ■ <i>ROLL2</i>（ロール 2） ■ <i>ROLL3</i>（ロール 3） ■ <i>ROLL4</i>（ロール 4） ■ <i>ROLL5</i>（ロール 5） ■ <i>ROLL6</i>（ロール 6） ■ <i>TRAY1</i>（トレイ 1） ■ <i>TRAY2</i>（トレイ 2） ■ <i>TRAY3</i>（トレイ 3） ■ <i>MANUAL</i>（手差し） フィールドはスキャン to ファイル ジョブに対して空です。

パラメータ	種類	長さ（最高）	説明
出力の折り方式 (Fold)	テキスト	N/A	<p>2 方向の折り（ファン＋クロス折り）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ <i>AFNOR</i>（アフノール） ■ <i>ERICSSON</i>（エリクソン） ■ DIN（標準） <p>1 方向の折り（ファン折り）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ <i>AFNOR1</i>（アフノール1） ■ <i>ERICSSON1</i>（エリクソン1） ■ DIN1（標準1） <p>オフラインの折りは記録されません。 フィールドはスキャン to ファイル ジョブに対して空です。</p>
出力のとじしろ方法 (Bind)	テキスト	N/A	<p>出力用紙のとじしろ方法を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ <i>EDGEONLY</i>（とじしろのみ） ■ <i>REINFORCE</i>（補強） ■ <i>PUNCH</i>（パンチ） <p>フィールドはスキャン to ファイル ジョブに対して空です。</p>
出力用紙の排紙先 (MedDst)	テキスト	N/A	<p>物理的な出力の場合の出力用紙の排紙先</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ <i>BELT1</i>（ベルト1） ■ <i>BELT2</i>（ベルト2） ■ <i>BELTS</i>（ベルト） ■ <i>CDT</i>（コピー排紙トレイ） ■ <i>IRT</i>（標準排紙トレイ） ■ <i>FIRSTFOLD</i>（ファン折り） ■ <i>STACKER</i>（スタッカ） ■ <i>DOUBLE_DECKER_PRO</i> <p>フィールドはスキャン to ファイル ジョブに対して空です。</p>
出力ファイルタイプ (FileType)	テキスト	N/A	<p>デジタル出力の場合の出力ファイルの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ <i>TIFF</i> ■ <i>CALS</i> ■ <i>PDF</i> <p>フィールドはプリント ジョブおよびコピー ジョブに対して空です。</p>

パラメータ	種類	長さ（最高）	説明
出力ファイルの圧縮 (FileCmpr)	テキスト	N/A	<p>デジタル出力の場合の出力ファイルの圧縮方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ GROUP3 ■ GROUP4 ■ PACKBITS ■ LZW ■ FLATE <p>フィールドはプリント ジョブおよびコピー ジョブに対して空です。フィールドは圧縮していないスキャン to ファイル ジョブに対して空です。</p>
出力ファイルサイズ (FileSz)	テキスト	9	<p>デジタル出力の場合のバイトによる出力ファイルのサイズ（複数ページの出力ファイルの場合はすべてのページを含む）です。</p> <p>フィールドはプリント ジョブおよびコピー ジョブに対して空です。</p>
出力ファイルの保存先 (FileDst)	テキスト	255	<p>デジタル出力の場合の Oce Scan Manager で使用される出力ファイルの保存先の名前です。1 つのジョブの複数ページが同じ保存先ファイルを持つ場合、複数ページファイルが生成されます。</p> <p>フィールドはプリント ジョブおよびコピー ジョブに対して空です。</p>
出力解像度 (width direction)	数値	4	<p>dpi で表した出力の幅方向の解像度です。</p>
出力解像度 (height direction)	数値	4	<p>dpi で表した出力の高さ方向の解像度です。</p>
完了 ID (CmpId)	数値	8	<p>Completion ID はジョブのインスタンス数を示します。1 から始まります。ジョブが履歴キューから再起動する場合に、2 以上のジョブ インスタンスが発生します。</p>

パラメータ	種類	長さ（最高）	説明
記録タイプ 6410 の追加フィールド (Oce TCS400)			
出力カラーモード (ColMod)	テキスト	255	ジョブのカラー モードです。 ■ <i>COLOR</i> (カラー) ■ <i>MONOCHROME</i> (モノクローム)
出力品質モード (QualMod)	テキスト	255	ジョブの品質モードです。 ■ <i>CHECK</i> (チェック用) ■ <i>RELEASE</i> (提出用) ■ <i>PRESENTATION</i> (展示用)
出力コンテンツ タイプ (ContMod)	テキスト	255	プリント ジョブの内容の種類 ■ <i>LINESTEXT</i> (ライン/テキスト) ■ <i>AREALINES</i> (エリア ライン)
イメージ タイプ (ImageType)	テキスト	255	コピー ジョブおよびスキャン to ファイル ジョブのイメージの種類です。 ■ <i>PHOTO</i> (写真) ■ <i>LINEART</i> (線画) ■ <i>MAP</i> (マップ) ■ <i>ARTWORK</i> (アートワーク) ■ <i>DARKORIGINAL</i> (濃い原稿) ■ <i>BLUEPRINT</i> (白黒反転)

メモ：この表はすべてのシステムのすべての標準フィールドの完全なリストです。システムが機能をサポートしていない場合は、フィールドは空のままです。

拡張 CSV エクスポート フィルタの出力の構造

拡張 CSV エクスポート フィルタを使用すると、Oce Account Console で定義された追加フィールドもエクスポートされます。

これらの追加フィールドは、標準フィールドの後に追加されます。

ジョブで追加フィールドが使用できない場合、フィールドは空のままです。

カスタム エクスポート フィルタを使用してエクスポートできる追加フィールド

Oce Account Console を使用して、寸法（幅、長さ、面積）で使用する単位を設定することができます。そのようなフィールドを含むカスタム エクスポート フィルタは、定義済みの単位で情報をエクスポートします。（たとえば、出力幅を mm 単位で）

Oce Power Logic^(r) で記録された「日時」フィールドには、一意のフィールド名がありません。カスタム エクスポート フィルタを使用して、一意の名前のある追加「日時」フィールドを選択することができます。

パラメータ	種類	長さ（最高）	説明
受信日付 (Rcv)	テキスト		受信日付のテキスト表現です。
受信日付：年 (Y)	数値	4	ソース ページが受信された年です。
受信日付：月 (RcvM)	数値	2	ソース ページが受信された月です。
受信日付：日 (RcvD)	数値	2	ソース ページが受信された日です。
受信時間：時 (Rcvh)	数値	2	ソース ページが受信された時間です。
受信時間：分 (Rcvm)	数値	2	ソース ページが受信された時間（分）です。
受信時間：秒 (Rcvs)	数値	2	ソース ページが受信された時間（秒）です。
ソースの幅 (SrcWth)	数値	6	ソース ページのネイティブ幅です (Oce Account Console で設定された単位で表示)。
ソースの高さ (SrcHgt)	数値	6	ソース ページのネイティブ高さです (Oce Account Console で設定された単位で表示)。
ソースの面積 (SrcArea)	数値	50	ソース ページのネイティブ面積です (Oce Account Console で設定された単位で表示)。

パラメータ	種類	長さ（最高）	説明
出力の幅 (OutWth)	数値	6	出力ページの実際の幅です (Oce Account Console で設定された単位で表示)。
出力の高さ (OutHgt)	数値	6	出力ページの実際の高さです (Oce Account Console で設定された単位で表示)。
出力の面積 (OutArea)	数値	50	出力ページの実際の面積です (Oce Account Console で設定された単位で表示)。
配信日付 (Dlv)	テキスト		配信日付のテキスト表現です。
配信日付：年 (Y)	数値	4	ページが配信された年です。
配信日付：月 (DlvM)	数値	2	ページが配信された月です。
配信日付：日 (DlvD)	数値	2	ページが配信された日です。
配信時間：時 (Dlvh)	数値	2	ページが配信された時間です。
配信時間：分 (Dlvm)	数値	2	ページが配信された時間（分）です。
配信時間：秒 (Dlvs)	数値	2	ページが配信された時間（秒）です。

用紙サイズのアカウント情報

標準の出力用紙のサイズがジョブに選択される場合は、ログ ファイルの値は次の表の値と一致します。値が異なる場合は、標準以外の用紙サイズがジョブで選択されたことを示します。

フォーマット名	幅 (1/72 インチの単位)	長さ (1/72 インチの単位)
A0	2384	3370
A1	1684	2384
A2	1191	1684
A3	842	1191
A4	595	842
E	2448	3168
D	1584	2448
C	1224	1584
B	792	1224
A	612	792
E+	2592	3456
D+	1728	2592
C+	1296	1728
B+	864	1296
A+	648	864
B1	2004	2835
B2	1417	2004
B3	1001	1417
B4	709	1001
30x42	2160	3024
jis B1	2064	2920
jis B2	1460	2064
jis B3	1032	1460

フォーマット名	幅 (1/72 インチの単位)	長さ (1/72 インチの単位)
jis B4	729	1032
jis B5	516	729

[3] 出力用紙の用紙サイズ

幅と長さの値は、横長の向きで出力の位置を変更します。

メモ： 上記のリストはサポートされている用紙の種類とサイズのリストではありません。すべてのシステムが上記すべての用紙の種類とサイズをサポートしているわけではありません。

索引

C

csv 117

O

oce account center におけるユーザーの役割と
タスク 14

oce account center の概要 13

oce account center の設定を変更するには 30,
102

oce account console

リモート アクセス 22

ログアウト 34, 103

ログイン 28, 100

oce account console からログ データを削除す
るには 113

oce account console のインストール 19

oce account console のライセンス 21

oce account console の主なコンポーネント 31

oce account logic

リモート アクセス 25, 83

使用できるようにする 23

有効 23

oce account logic のアップグレード 71

oce account logic の有効化 23

oce account logic を有効にするには 23

Z

「アカウント情報」ダイアログ 95

プリント 91

プレビュー 64

作成 40, 63

発行 66

「アカウント情報」ダイアログの作成 40,
63

「アカウント情報」ダイアログを oce account

logic で使用できるようにするには 66

「アカウント情報」ダイアログをプレビュー
するには 64

「アカウント情報」ダイアログを使用できる
ようにする 66

「エクスポート フィルタ」タブ 31

「ダイアログ」タブ 31

「デバイス」タブ 31

「管理」ウィンドウ 78

A

アカウント データ

取得 74

アカウント フィールド

編集 53

アカウント フィールドに既存の値を追加する
には 50

アカウント フィールドに新しい値を作成する
には 47

アカウント フィールドの作成 41

アカウント フィールドの削除 54

アカウント フィールドの順序の変更 55

アカウント フィールドの値を削除するには
59

アカウント フィールドの編集 53

アカウント フィールドを削除するには 54

アカウント フィールドを編集するには 53

アカウントのログ

ログ ファイルの構造 116

標準のログ ファイル情報 116

用紙サイズ情報 129

アカウント情報のないジョブ 91

管理 94

アカウント情報の入力

プリント ジョブ 90

アカウント情報要件 81

アップグレード

デバイス 71

インストール

oce account console 20

インボックス 92

エクスポート フィルタ 104

コピー 110

作成 106

削除 108

実行 111

編集 109
エクスポート フィルタをコピーするには 110
エクスポート フィルタを削除するには 108
エクスポート フィルタを実行するには 112
エクスポート フィルタを編集するには 109
エクスポートされたフィールド 117
エクスポートされたフィールドの説明 117
エントリの種類「パスワード」を使用してアカウントフィールドに新しい値を作成するには 48
エントリの種類「パスワード」を使用してアカウントフィールドの値を編集するには 58

カ

カスタム エクスポート フィルタを使用してエクスポートできる追加フィールド 127
コピー
エクスポート フィルタ 110
コピー ジョブ
アカウント情報の入力 97
コントローラの設定 16

サ

サードパーティ アプリケーション
フィールドの発行 62
サードパーティ アプリケーションからフィールドと値を使用するには 62
システム要件 19
スキャン to ファイル ジョブ
アカウント情報の入力 97
ソート
値 61

タ

タスク
ログデータの取得 74
デバイス
アップグレード 71
作成 67

削除 70
追加 67
編集 69
デバイスからアカウントデータを手動で取得するには 75
デバイスのアップグレード 71
デバイスの削除 70
デバイスをアップグレードするには 72
デバイスを削除するには 70

ナ

ネットワーク上のワークステーションからoce account console に接続する 22

ハ

バックアップ
ライセンス ファイル 39
パスワード
変更 79
パスワードの変更 79
パスワードの変更方法 29, 101
フィールド
作成 41
削除 54
順序の変更 55
フィールドの発行
サードパーティ アプリケーション 62
プリント長 28, 100
プリント領域 28, 100
プレビュー
「アカウント情報」ダイアログ 64
ホスト id 35
ホスト id の決定 35
ホスト id を表示するには 36

マ

マニュアルセット 9
ユーザー 12
ユーザー id とアカウント id のみがアカウント情報として指定されているプリントジョブ
ワークフローの定義 84

ユーザーのタスク 14
ユーザーの役割
 ブックキーパー 14
 ユーザー 14
 管理者 14
ライセンス 21
 有効 37
ライセンス ファイル
 バックアップ 39
ライセンスファイルをバックアップするには 39
ライセンスを起動するには 38
リストにデバイスを追加するには 68
リモート アクセス設定の定義 83
リモート ブラウザで利用できるタブを定義するには 83
ローカル クライアントに「アカウント」ダイアログの取得を許可する 86
ログ データ
 削除 113
ログ ファイル
 取得 74
ログ ファイルの構造 116
ログイン 79
ワークフローの概要 13
一定の時間間隔でアカウント データを自動的に取得するには 75
拡張 csv エクスポート フィルタの出力の構造 126
管理
 リモート アクセス 83
 oce account console 80
 コピー ジョブ 81
 スキャン to ファイル ジョブ 81
 プリント ジョブ 81
 ユーザー id とアカウント id のみがアカウント情報として指定されているプリント ジョブ 84
既存のデバイスの編集 69
既存のデバイスを編集するには 69
既存の値の追加 50
現在のライセンス ファイルのバックアップ 39
言語 28, 100
作成
 デバイス 67
 削除 108
 ログ データ 113
実行
 エクスポート フィルタ 111
取得
 アカウント データ 74
 ログ ファイル 74
順序のソート
 アルファベット順にソート 60
順序の変更
 フィールド 55
 値 60
新しい「アカウント情報」ダイアログの取得 80
新しいアカウントフィールドを作成するには 41
新しいアカウント情報構造を取得するには 80
新しいエクスポート フィルタを作成するには 107
新しいライセンスの起動 37
新しい値の作成 45
新規エクスポート ファイルの作成 106
説明
 エクスポートされたフィールド 117
値
 アルファベット順にソート 61
 既存の追加 50
 作成 45
 削除 59
 順序の変更 60
 編集 57
値の削除 59
値の順序を変更するには 60
値の編集 57
値をソートするには 61
値を編集するには 57
発行 29, 101
 「アカウント情報」ダイアログ 66
発行を有効にするには 29, 101
標準 csv エクスポート フィルタ 116
標準 csv エクスポート フィルタの出力の構造 116
標準フィルタのリスト 105
編集
 エクスポート フィルタ 109
有効なアカウント情報のないプリント ジョブをプリントするには 94
履歴 92

履歴キューからジョブを再プリントするには
94